SHARP

取扱説明書

ブルーレイディスクプレーヤー

形名 BD-HP90（ビー ディー エイチ ピー）

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」（**5** ページ）を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。
- 保証書は、必ず購入店名・購入日などの記入を確かめてお受け取りください。
- 製造番号は、品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と保証書に記入されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。
- 取扱説明書では、「ブルーレイディスクプレーヤー　BD-HP90」を「本機」と表現しています。
- 取扱説明書に掲載しているイラストは説明のため簡略化していますので、実際のものとは多少異なる場合があります。
- 取扱説明書の操作手順では、おもにリモコンを使って説明しています。

確認
準備
基本
再生
接続
各種設定
参考

もくじ

はじめに

本機をお使いになる前に知っていただきたいことや操作のための準備について説明してします。

確認する

準備する

基本操作

使ってみよう

再生する

接続と設定 ご自分で接続するときはここからお読みください。

接続する

各種設定をする

ファミリンクの設定をする

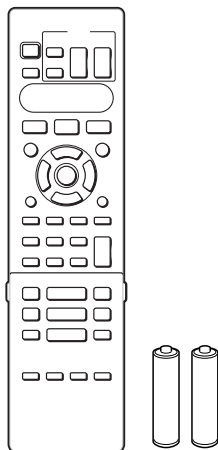
BD-LIVE の設定をする

こんなときは 困ったときに役立つ情報です

付属品

付属品

• 箱を開けて、本機とつぎの付属品がそろっているか確認してください。

リモコン× 1 個、単 4 形乾電池× 2 個

使いかたは **14** ～ **15** ページ

• 電池を交換する際は、アルカリ乾電池のご使用をおすすめします。

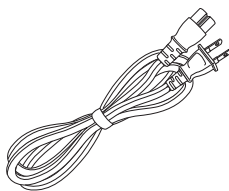
取扱説明書※

※ 当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。
This model is designed exclusively for Japan, with manual in Japanese only.

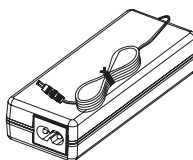
保証書

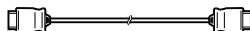
本機の保証書は、本機の梱包箱に貼り付けています。

電源コード（約 2m）× 1 本

注意：
付属の電源コードは本機のACアダプター専用です。他の機器に使用しないでください。

使いかたは **18** ページ

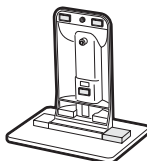
AC アダプター× 1 個

注意：
AC アダプターは本機専用です。他の機器に使用しないでください。

使いかたは **18** ページ

HDMI ケーブル（HIGH SPEED（カテゴリー 2）／約 2m）× 1 本

使いかたは **46**、**47**、**49**、**50** ページ

転倒防止クランプ× 2 個
取付用ビス× 2 個

使いかたは **17** ページ

縦置きスタンド× 1 台

使いかたは **16**、**17** ページ

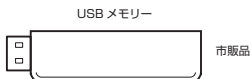
市販の USB メモリーについて

• **本機の外部メモリー端子に装着する（27 ページ）**

市販の USB メモリーが必要です。

USB2.0（2GB 以上）をご購入ください。

USB メモリー

市販品

安全にお使いいただくために

●「安全にお使いいただくために」は使う前に必ず読み、正しく安全にご使用ください。

●この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠警告	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠注意	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

気をつける必要があることを表しています。

してはいけないことを表しています。

しなければならないことを表しています。

⚠警告

煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のときは電源プラグを抜く

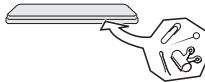
・異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

電源プラグを抜く

・本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜く

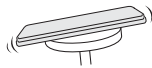
内部に物や水などを入れない

・本機の開口部（通風孔やディスク挿入口など）から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁止

・異物や水が本機の内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜く

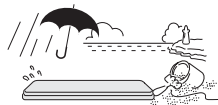
不安定な場所に置かない

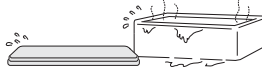
・ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

禁止

本機の上には花びん、水などの入った容器を置かない

・水がこぼれたり中に入った場合、火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

・水を入れたり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

水ぬれ禁止

・風呂、シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室での使用禁止

表示された電源電圧で使用する

・表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

100V 使用

次ページへつづく ▶▶▶

安全にお使いいただくために（つづき）

⚠ 警告

雷が鳴り出したら電源プラグには触れない

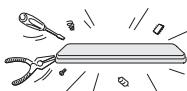
・感電の原因となります。

接触禁止

キャビネットは絶対に開けない

・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

分解禁止

・本機を分解したり改造したりしないでください。発熱・発火・感電・けがの原因となります。またレーザー光が目に当たると視力障害を起こす原因となります。

分解禁止
禁止

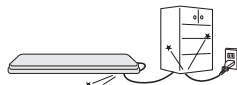
電源コードを破損するようなことはしない

・電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。電源コードが破損して火災・感電の原因となります。

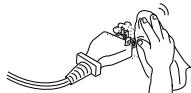
禁止

・電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

交換を依頼する

・電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

禁止

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は乾いた布で取り除く

・そのままで使用すると火災・感電の原因となります。

ほこりを取る

⚠ 注意

本機の通風孔をふさがない

・通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。
  ・本機を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
  ・テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置く。

禁止

・あお向けや横倒し、逆さまにする。（動作姿勢水平）

重いものを置かない

・本機に乗らないでください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁止

・本機の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

禁止

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない

・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

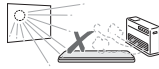
禁止

冷気が直接吹き付ける所や極端に寒い所には置かない

・つゆがつき、漏電、焼損、故障や事故の原因となることがあります。

注意

直射日光の当たる場所や温度の高い場所に置かない

・内部の温度が上がり、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

電源コードを熱器具に近づけない

・コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

注意

移動させるときは必ず接続コードを外す

- 移動させる場合は電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外したことを確認の上、行なってください。接続したまま持ち運ぶとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。またディスクは取り出しておいてください。

電源プラグを抜く

- 移動させるときは、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。けがや故障の原因となることがあります。

禁止

お手入れのときは電源プラグを抜く

- 安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

テレビ、オーディオ機器などに接続するときは、本機の電源プラグをコンセントから抜く

- 電源を入れたまま接続すると、感電やけがの原因となることがあります。

電源プラグを抜く

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

- コードが傷つき、火災･感電の原因となることがあります。必ず電源プラグを持って抜いてください。

禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

- 感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全なときは、発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。
- 金属の部分にふれると感電の原因となることがあります。

確実に差し込む

電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるときはコンセントに接続しない

- 発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

禁止

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

- 飛び散ってけがの原因となることがあります。

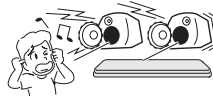
禁止

長時間、音が歪んだ状態で使わない

- スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

電源を入れる前にはテレビやアンプの音量を最小にする

- 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

音量を小さく

旅行などで長時間ご使用にならないときは電源プラグを抜く

- 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

次ページへつづく ▶▶▶

⚠注意

３年に一度くらいは本機内部の清掃を販売店に依頼する

・本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、内部掃除費用については、販売店などにご相談ください。

注意

タコ足配線をしない

・感電・火災の原因となることがあります。

禁止

電池についての安全上のご注意

液もれ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

電池は幼児の手の届く所に置かない

・電池は飲み込むと、窒息の原因や胃などに止まると大変危険です。飲み込んだ恐れがあるときは、ただちに医師と相談してください。

禁止

電池の液が漏れたときは素手でさわらない

・電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。

・皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に障害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など障害の症状があるときは、医師に相談してください。

禁止

電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない。乾電池は充電しない

・電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

・間違えると電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

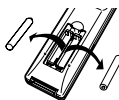
表示どおりに入れる

指定以外の電池を使わない。新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

・電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

・電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ故障、火災･けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を取り出す

⚠注意

3D 映像を視聴される場合のご注意

光過敏の既往症がある人、心臓に疾患がある人、および体調不良の人は視聴しない

• 病状が悪化する原因となることがあります。

禁止

3D 映像の視聴年齢は、およそ 5 ～ 6 歳以上を目安にする

• お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、突然体調が悪くなる場合があります。お子様がご視聴になる際は、目の疲れがないかを保護者の方が、ご注意ください。

お子様の視聴に注意する

視聴中に疲労感、および不快感など異常を感じた場合には、視聴を止め適度な休憩をとる

• 視聴を続けると体調不良の原因となることがあります。

表示どおりに入れる

3D 映画などを視聴する場合は、1 時間程度を目安に適度な休憩をとる

• 長時間の視聴にともなう視聴疲労の原因になることがあります。

休憩をとる

• お客さままたは第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

重要　必ずお読みください

■ 保証について…………………　本機を分解しますと、保証が無効になります。

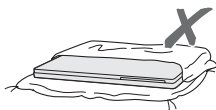
■ 再生の制限について………　本機は、無許諾のディスク（海賊版など）の再生を制限する機能を搭載しており、このようなディスクを再生することはできません。

免責事項

・お客さままたは第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

設置時のお願い

本体裏面のファンや通風孔をふさがないでください

- キャビネットの保護シートは、必ず剥がしてご使用ください。保護シートにより、放熱ファンが塞がれ、本体内部が高温となり故障の原因となります。
- 本体を設置する際は、本体裏面のファンや通風孔をふさがないでください。放熱を妨げ、故障の原因となります。特にテレビ台や AV ラック等に収納して設置するときはご注意ください。
- 毛足の長い敷物やベッド、ソファーの上などで使用したり本機を布などでくるんで使用しないでください。放熱を妨げ、故障の原因となります。

横置きに設置するときは水平に置いてください

- 逆さまにしたり、不安定な場所や振動の多い場所などに設置したときは故障の原因となります。

立ててご使用になるとき

- 必ず付属の縦置きスタンドに取り付けてください。

本機の上には物を乗せないでください

- 本機の上に十分なスペースがとれる場所に、設置してください。
- 本機の上に、物を置かないでください。画面にノイズが出たり、キャビネットに傷がつく、キャビネットが変形するなど故障の原因となります。

ほこりや煙を避けてください

- ほこり・タバコの煙の多い場所には置かないでください。故障や事故の原因になります。

接続機器について

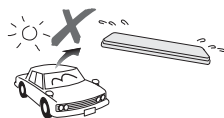
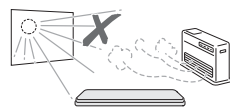
- 本機に接続して使用する機器の取扱説明書に記載されている「使用上のご注意」もよくご覧ください。

取扱いはていねいに

- 落下させたり、強い衝撃や振動を与えたりしないでください。故障の原因となります。持ち運びや移動の際にもご注意ください。

使用時のお願い

高温の場所で使用しないでください

- 窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。本機およびディスクの周囲が高温状態にならないよう十分ご注意ください。

- 発熱する機器の上には本機を置かないでください。
- 直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

電源が入っているときは次の点にご注意ください

- 電源プラグをコンセントから抜かない
- 本機を設置してある場所のブレーカーを落とさない
- 本機を移動させない

故障の原因となります。

残像現象（画像の焼きつき）のご注意

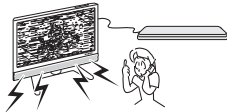
- 静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象（画像の焼きつき）を起こす場合があります。特にプロジェクションテレビでは残像現象（画像の焼きつき）が起こりやすいのでご注意ください。

使用温度について

- 室温が 5℃～ 35℃の状態でご使用ください。室温の温度変化は、1 時間あたりの温度変化を 10℃以内に保つことをおすすめします。
- 湿度の高いところでは使用しない
- 温度差の激しいところでは使用しない

磁気や電磁波妨害について

・本機に磁石、電気時計、磁石を使用した機器やおもちゃなど磁気を持っているものを近づけないでください。
・本機の近くで、携帯電話などの電子機器を使わないでください。

磁気の影響を受けたり、電磁波妨害などにより、再生時に映像が乱れたり、雑音が発生することがあります。
また、画面の色が乱れたり、ゆれたりすることがあります。

国外では使用できません

・本機が使用できるのは日本国内だけです。外国では再生可能地域番号や放送方式が異なりますので使用できません。

This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

長時間ご使用にならないときは

節電について

・使い終わった後は電源を切り、節電に心掛けましょう。また旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いておきましょう。

長期間ご使用にならないとき

・長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

結露（つゆつき）について

・以下のような温度差の激しいところに設置すると、本機内部やピックアップレンズやディスクに「つゆつき（結露)」が起こる場合があります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのままご使用になると故障の原因になります。
・暖房をつけた直後。
・湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき。
・冷えた場所（部屋）から急に暖かい部屋に移動したとき。
寒冷地区でのご使用の場合は、特につゆつきにご注意ください。

つゆがつくと

信号が読み取れず、この製品が正常な動作をしないことがあります。

つゆをとるには

ディスクを取り出して、電源を切り、つゆがなくなるまで放置してください。そのままご使用になると、故障の原因になります。

引っ越しや輸送のときは

・ディスクを取り出してから梱包してください。
また、ふだんご使用にならないときも、ディスクを取り出してから、電源を切ってください。

お手入れについて

キャビネットのお手入れについて

・キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどでふいたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。

・殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品・合成皮革などを長時間接触させたままにしないでください。塗料がはげるなどの原因となります。
・ステッカーやテープなどを貼らないでください。キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。
・キャビネットや操作パネル部分の汚れは柔らかい布（綿、ネル等）で軽くふき取ってください。化学ぞうきん（シートタイプのウェット、ドライのものを含む）を使用されますと、本体キャビネットの成分が変質したり、ひび割れなどの原因となる場合があります。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。
強力な洗剤を使用した場合、変色、変質、塗料がはげる場合があります。目立たない場所で試してから、お手入れすることをおすすめします。

次ページへつづく ▶▶▶

本機の取り扱いに関するご注意とお知らせ

本機の電源について

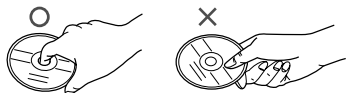
- 電源プラグをコンセントに差し込んだ直後や、停電からの復帰後は、電源を「入」にしても、システム調整のため数十秒程度は動作しない場合があります。
- 電源を入れると、冷却のため本体内部の冷却ファンが回転します。

キャビネットについて

- 本機をご使用中、使用環境によっては本体（キャビネット）の温度が若干高くなりますが故障ではありません。安心してお使いください。

ディスク（BD・DVD・CD）の取り扱いに関するご注意とお知らせ

ディスク（BD・DVD·CD）の取り扱いはていねいに

- 記録面（再生面）には手を触れないでください。

- ディスクに紙やシールを貼らないでください。

ディスク（BD・DVD·CD）のお手入れについて

- ディスクについた指紋や汚れを落とすときは、柔らかい布でディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取るようにしてください。

- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で軽く拭き取り、乾いた布でからぶきしてください。
- シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは絶対に使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

ディスクの再生で音飛びしたり、画像が乱れるときは

- レンズにゴミやほこりがたまると、音飛びしたり画像が乱れて見える場合があります。
  修理は、お買い上げの販売店またはお客様相談センター（**78** ページ）にご依頼ください。

ディスク（BD・DVD·CD）の保管のしかた

- ディスクのケースに入れ、立てて保管してください。

- 直射日光の当たるところや熱器具などのそば、湿気の多いところは避けて保管してください。

- 落としたり、強い振動やショックを与えないでください。
- ほこりの多いところやカビの発生しやすいところは避けてください。

つゆつきについて

- 以下のような温度差の激しいところに設置すると、内部のピックアップレンズやディスクに「つゆつき（結露）」が起こる場合があります。
  - 暖房をつけた直後。
  - 湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき。
  - 冷えた場所（部屋）から急に暖かい部屋に移動したとき。

つゆがつくと

ディスクの信号が読み取れず、この製品が正常な動作をしないことがあります。

つゆをとるには

ディスクを取り出して、電源を切り、つゆがなくなるまで放置してください。そのままご使用になると、故障の原因になります。

各部のなまえとおもな機能

本体前面

メディアサークル
・ 再生中:青点灯
　キーロック設定中:青点滅
・ キーロック中にリモコンや本体のボタン操作を行ったときも青点滅表示します。

リモコン受光部B
(→15、17ページ)

リモコン受光部A
(→15、17ページ)
・ 本機の置き方に応じて、使用するリモコン受光部を選びます。

外部メモリー端子(USB準拠)
(→27、28、34、65ページ)
・BDビデオのBD-LIVEサービス機能でダウンロードしたデータを、USBメモリーに保存します。
・USBメモリーを取り付けたり外したりする場合は、本機の電源を必ず切ってください。

電源ボタン
(→19ページ)
・ 5秒以上押しつづけるとリセットとなります。

電源ランプ
(→19ページ)
・ 電源切のときはランプが赤点灯、電源入のときは緑点灯します。

3Dランプ
・ 3D映像再生中に点灯します。

取出しボタン
(→20ページ)

ディスク挿入口
(→20ページ)

AQUOS純モードランプ
・ シャープ製ファミリンク対応テレビ「アクオス」と接続しているときに点灯します。詳しくは「AQUOS純モード」についてをご覧ください。

本体のランプを消したいときは

・ リモコンの本体表示ボタンを押します。(ホーム画面から「各種設定」ー「便利な機能」ー「本体表示」で設定することもできます。(→ **54** ページ)

「AQUOS 純モード」について

ファミリンク対応のシャープ製テレビ「アクオス」と接続し、ファミリンク機能を使用するための設定をしているとき(→ **59** ～ **60** ページ)、本機の HDMI 端子から「アクオス」に最適な画質で映像が出力される機能です。

本体裏面

転倒防止クランプ取り付け部(予備)

冷却ファン

転倒防止クランプ取り付け部(推奨)
(→17ページ)

モデルラベル

リモコン受光
A・ B・

縦置スタンド用ネジ穴
(→17ページ)

カバーのはずし方(→16ページ)

リモコン受光部切り換えスイッチ
(→17ページ)
・ 本体前面の受光部Aを使用するとき⇨A側
・ 本体天面の受光部Bを使用するとき⇨B側

DC入力12V
光デジタル音声出力
HDMI出力
LAN

DC入力端子(→18ページ)
・ ACアダプターを接続します。
・ ACアダプターは必ず付属のものをご使用ください。

光デジタル音声出力端子(→48、50ページ)
・ 光デジタル音声入力端子付きのオーディオ機器などと接続します。

LAN端子(→51ページ)
・ BD-LIVE対応のディスクなどを楽しむために接続する端子です。

HDMI出力端子
(→46～47、49～50ページ)
・ HDMI入力端子付きテレビやオーディオ機器などと接続します。

次ページへつづく ▶▶▶

リモコン

・本機のリモコンで、本機とシャープ製のテレビを操作することができます。(シャープ製以外のテレビは操作できません。)

キーロック機能について

誤って操作することを防げます。
ファミリンク対応の液晶テレビ「アクオス」に本機を接続している場合、ファミリンクによって本機が操作されてしまうこともありません。

- を2秒以上押すと、キーロック「入」になります。
  設定中はメディアサークルが青点滅表示します。
- を2秒以上押すたびに、「入」⇔「切」となります。

数字（40、41ページ）
- 視聴メニュー（→**40**ページ）や暗証番号（→**58**ページ）などの設定時に数字を入力します。

ふたを開けたところ

決定（40、41ページ）
- 入力した数字を決定します。

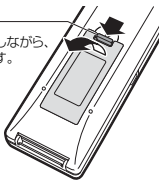
クリア（40、41ページ）
- 入力した数字を消去します。

・名称のないボタンを押しても、機能しません。

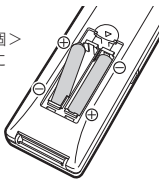
電池の入れかたと操作範囲

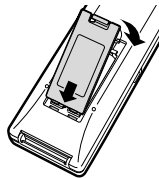
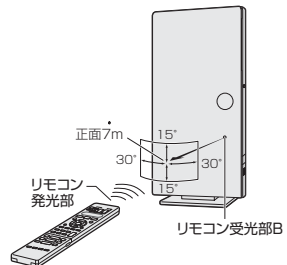
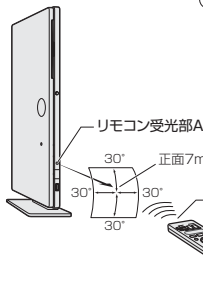
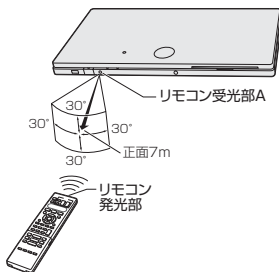
電池の入れかた

①裏ぶたを開ける

・矢印の方向に裏ぶたを開けます。

②乾電池を入れる

・付属の乾電池<単４形×２個>を収納部の⊕⊖の表示どおりに正しく入れてください。

・新しい乾電池と交換する際は、アルカリ乾電池をご使用ください。

③裏ぶたを閉める

・カチッと音がするまで確実に閉めてください。

リモコンの操作範囲

・本機は置き方に応じて、使用するリモコン受光部が選べます。
リモコン受光部の切り換えかたは、**17**ページをご覧ください。

⚠注意　乾電池使用上のご注意

乾電池は誤った使いかたをすると、液もれや破れつを起こすことがありますので、次の点について特にご注意ください。

- **乾電池のプラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおりに正しく入れてください。**
- **乾電池はショートさせたり、充電したり、分解したりしないでください。**
- **乾電池は種類によって特性が異なります。**
  種類の違う乾電池は混ぜて使用しないでください。
- **新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。**
  新しい乾電池の寿命を短くしたり、古い乾電池から液がもれるおそれがあります。
- **乾電池が使えなくなったら…**
  液がもれて故障の原因となるおそれもありますのですぐ取り出してください。また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。
- **不要となった乾電池を廃棄する場合は、各自治体の指示（条例）に従って処理してください。**

重要

- リモコンには衝撃を与えないでください。
- リモコンのふたに強い力を加えないでください。故障の原因となる恐れがあります。
- リモコンを、水に濡らしたり湿度の高いところに置いたりしないでください。
- 乾電池を入れ換えたとき、リモコンが正しく動作しないことがあります。このようなときは、乾電池をいったんリモコンから取り外し､5分以上たってから入れ直してください。
- 本体のリモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっていると、リモコンが正しく動作しないことがあります。照明または本体の向きにご注意ください。
- 本体のリモコン受光部とリモコンの間に障害物があると動作しない場合があります。障害物を取り除いてご使用ください。
- **付属の乾電池は、保管状態により短期間で消耗することがあります。**早めに新しいアルカリ乾電池と交換してください。（寿命は通常６カ月～１年が目安です。）
- 長期間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出してください。

端子カバーのはずし方と取り付け方

本機と AC アダプターなどを接続する前に本体裏面の端子カバーをはずします。

1 本体裏面の端子カバーをはずします

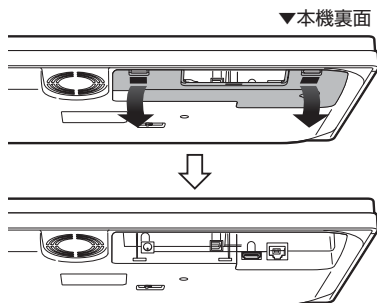
2 本機に必要な接続をします

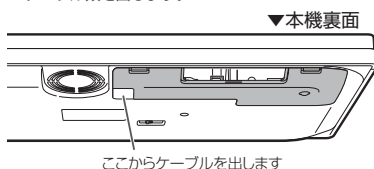
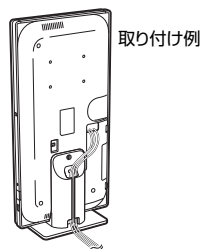
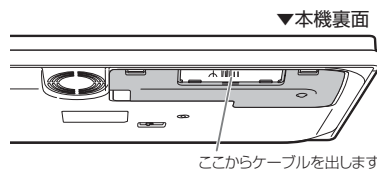
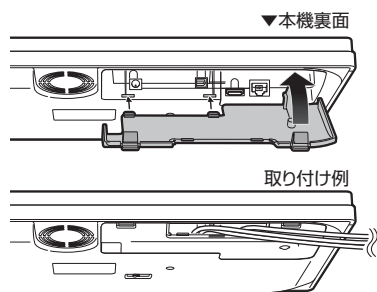
・18、46 ～ 51 ページをご覧ください。

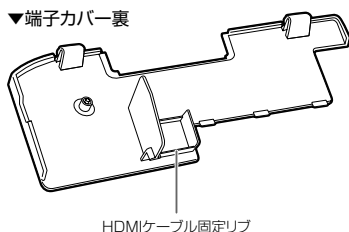
3 端子カバーを取り付けます

■横置きで使用する場合

・横置きで使用する場合は、端子カバーの中央部分からケーブル類を出します。

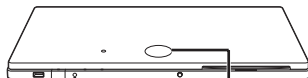
①端子カバーの中央部分にケーブル類が通るように取り付けます。

■縦置きで使用する場合

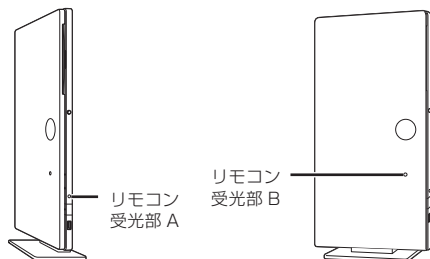
・縦置きで使用する場合は、端子カバーの端にある穴からケーブル類を出します。

①カバーの端にある穴にケーブル類が通るように、端子カバーを取り付けます。

・スタンドの取り付け方は、**17** ページをご覧ください。

HDMI ケーブル固定リブについて

HDMI ケーブル破損防止のために、端子カバーに固定リブがついています。HDMI ケーブルをまっすぐに差し込まないと、カバーが閉まりません。

本機を設置する

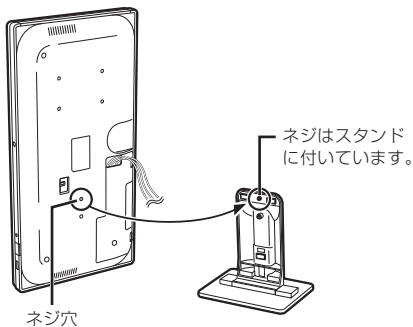
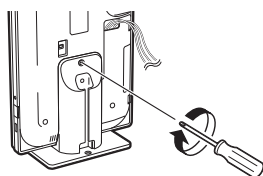
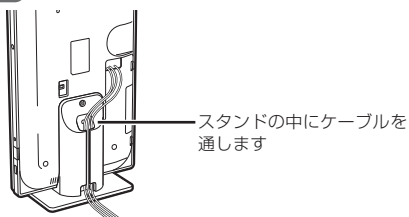
・本機は設置場所にあわせて横置き、または縦置きにして使用できます。
・設置状態に合わせて、リモコン受光部を切り換えます。

横置き

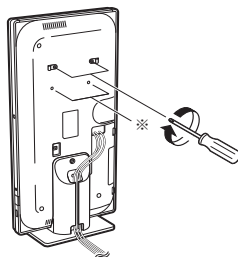
そのまま横に置いて使用します。
※必ず端子カバーを取り付けてください。

縦置き

本機は付属の縦置きスタンドを使用します。
※スタンドは水平な台に置いてください。

縦置きスタンドを取り付ける

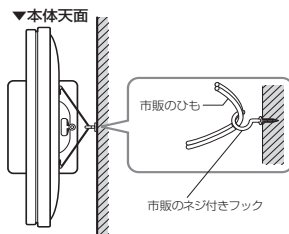
本機を縦置きで使用する場合は、付属の縦置きスタンドを取り付けます。

1 本機のネジ穴とスタンドを合わせます

2 本機と縦置きスタンドを固定します

3 ケーブルをまとめます

壁や柱に固定する場合は

転倒防止のため、本機を壁や柱に固定することができます。

① 付属の転倒防止クランプにひも（市販品）を通す
② 付属の転倒防止クランプを本機裏面に取り付ける

※ 下側にも転倒防止クランプを取り付けられますが、上側をご使用する事をおすすめします。

③ ネジ付きフックにひもを掛ける

確認 準備 基本 再生 接続 各種設定 参考

テレビと本機の準備をする

テレビと本体の電源を入れ、本機を操作するための準備をします。

重要

- 電源コードは、束ねずに伸ばしてご使用ください。
- 機器間の相互干渉による映像の乱れや雑音などを避けるために、電源コードや他のケーブル類をアンテナ線からできる限り離してご使用ください。

ご注意

ACアダプターについて
- 必ず付属のACアダプターを使用してください。
- ACアダプターは、熱くなることがありますが、故障ではありません。
- ACアダプターを、布でくるんだり、全体を覆ったりしないでください。故障の原因となることがあります。
- ACアダプターのカバーを外したり、改造しないでください。内部には高電圧の部分があり、感電の原因となります。

電源プラグを差し込む

1 端子カバーを外す

2 電源コードとACアダプターを接続します

3 ACアダプターを本機に接続します

4 電源プラグをコンセントに差し込みます

赤点灯中(電源ランプ)ー待機中(電源「入」にできます)

緑点灯中(電源ランプ)ー電源入

ご注意

- 本機の電源プラグは、アンプなどの電源スイッチに連動した電源コンセントにつながないでください。アンプの電源を切ったときに、本機の設定内容が消去されてしまうことがあります。
- 本機の電源が切れているときは、本体の電源ランプ（赤色）が点灯します。電源プラグを差し込んだときは、操作が行えるようになるまでに多少時間がかかります。電源ランプが赤点灯するまでお待ちください。

ファミリンク便利機能

- ファミリンク対応テレビとHDMIケーブルを使用して接続しているときは、テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えると、自動的に本機の電源も入ります。
  （テレビのファミリンク設定を行ってください。テレビ側の設定については、テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。）

- 本機のリモコンで操作できるテレビは、シャープ製のテレビです。シャープ製以外のテレビは操作できません。

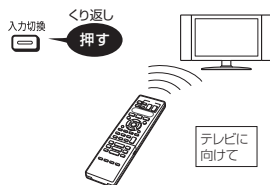
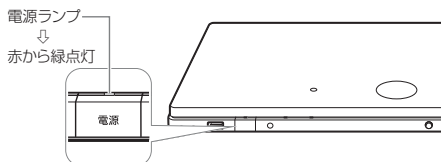
電源を入れる / 切る

1 テレビの電源を入れます

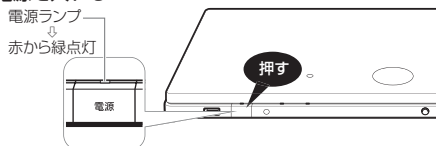
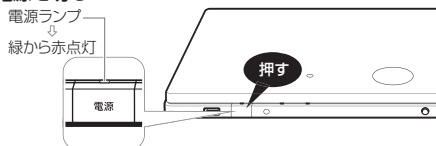
- シャープ製のテレビをご使用の場合は、本機のリモコンでテレビを操作できます。

2 テレビの入力を、本機を接続した入力（「入力 1」など）に切り換えます

3 本機の電源を入れます

電源が入ると…

・「Language・言語設定」画面が表示されたときは、適切な言語を設定してください。通常は、HDMIコントロール信号により、テレビ情報を取得し、テレビに合った言語が自動で設定されます。

本体で電源を入れる / 切る

■電源を入れる

■電源を切る

- 電源を切った直後は、再度電源ボタンを押しても電源が入らない場合があります。そのようなときは少し待ってから再度電源を入れてください。

ディスクの入れかた・出しかた

BD や DVD ディスクの入れかたと取り出しかたについて説明します。

お知らせ

- 本機にディスクを入れる前に、「本機で再生できるディスク」（→**69**ページ）をご覧ください。
- ディスク挿入口にあやまって２枚以上ディスクを重ねて挿入しないでください。故障の原因となります。

ディスクの持ちかた

- 光っている面に手を触れないように持ってください。指紋などがつくと、録画や再生ができなくなる場合があります。

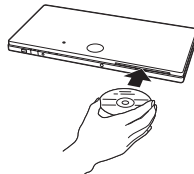
- ディスクに紙やラベル、シールなどを貼らないでください。
- ディスクに汚れなどがあるときは、「ディスク（BD・DVD・CD）のお手入れについて」（→ **12** ページ）をご覧になり、汚れを落としてください。

ディスクの入れかた

1 本機の電源を入れます

⇨ 電源入

2 ディスクの印刷面を上にし、ディスク挿入口にまっすぐに入れます

- ディスクの読み込みを行います。読み込みが完了すると自動的に再生されます。

- 印刷面を上にし、ディスクが引き込まれるまで挿入方向に押してください。
- 両面記録のディスクは、再生したい面を下にしてディスクを挿入します。

- 挿入すると自動的にメニュー画面が表示されるディスクもあります。画面の指示にしたがって操作してください。
- ディスクが挿入された状態で電源を切ったとき、次回電源を入れると、始めから自動再生されます。

ディスクの出しかた

取出し

▶ディスクを取り出す

- 本体の「取り出し」ボタンを押してもディスクを取り出すことができます。

ホーム画面の使いかた

■ホーム画面のあらまし

●ホーム画面とは、本機の操作や各種設定を行なうことができるメニュー画面です。

■ホーム画面について

■ホーム画面項目について

項目	説明
動画 ⇒ **25 ～ 32** ページ	ビデオソフトやレコーダーで録画した番組など動画を再生します。
画像 ⇒ **43 ～ 44** ページ	ディスクやUSBメモリーに記録されているJPEGファイル（画像）を再生します。
音楽 ⇒ **33 ～ 34** ページ	ディスクやUSBメモリーに記録されている音楽ファイルを再生します。
各種設定 ⇒ **53 ～ 55** ページ	映像や音声の設定、BD/DVD再生設定など本機を楽しむための設定が行なえます。

各種設定

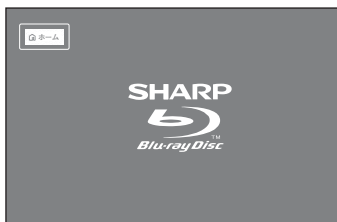
項目	説明
映像・音声設定 ⇒ **53** ページ	映像や音声に関する設定をします。
便利な機能 ⇒ **54** ページ	無操作時に電源を自動で切りにするなど、便利な機能を設定します。
ファミリンク設定 ⇒ **54** ページ	ファミリンクによる連携操作を働かすための設定をします。
BD/DVD再生設定 ⇒ **54 ～ 55** ページ	BD/DVDを再生するための設定をします。
Language・言語設定 ⇒ **55** ページ	画面の表示を英語表示にするか、日本語表示にするかを設定します。
通信設定 ⇒ **55** ページ	BD-LIVEを楽しむ、またはサーバーからソフトウェアをダウンロードし更新するためのLAN設定をします。
システムバージョン表示 ⇒ **55** ページ	ソフトウェアのバージョンを表示します。
USBメモリー管理 ⇒ **55** ページ	USBに保存されているBD-LIVEのデータ（特典映像やゲームスコアなど）を消去します。
ソフトウェアの更新 ⇒ **55** ページ	本機のソフトウェアを更新します。
システム ⇒ **55** ページ	本機の設定をリセットします。

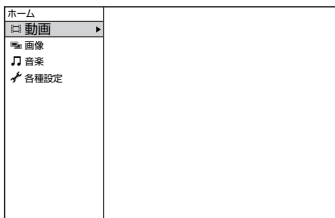
次ページへつづく ▶▶▶

■ホーム画面の操作方法

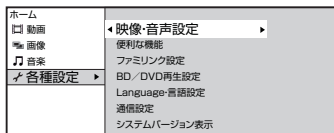
1 テレビと本機の準備をします

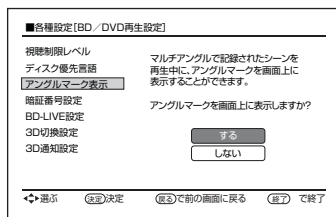
18~19ページ

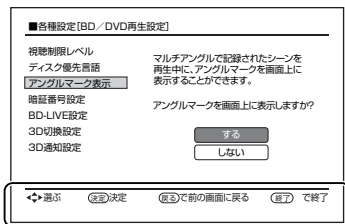
① テレビの電源を入れます。
② 本機の電源を入れます。
③ テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えます。

2 ホーム画面を表示させます

・ ホーム画面が表示されます。

3 操作したい項目を選んで決定します

・ ▷を押しても決定できます。

例 :「各種設定」を選んで決定したとき

4 操作したい項目を選んで決定します

例 :「BD/DVD 再生設定」－「アングルマーク表示」を選んで決定したとき

・ 一つ前の画面に戻るときは 戻る を押します。

5 設定します

・ 設定操作は項目により異なります。
操作ガイドに従って設定してください。

6 設定を終了します

再生について

BD や DVD ディスクなどを再生する前にお読みください。

再生のしかた

市販のBDビデオやDVDビデオ(映画など)を再生したい
市販のBDビデオやDVDビデオを再生する▶25ページ

BDレコーダーで録画したタイトル(番組)を再生したい
タイトルリストから再生する▶30ページ

DVDレコーダーで録画したタイトル(番組)を再生したい
タイトルリストから再生する▶30ページ
ファイナライズされたDVDディスクを再生する▶32ページ

音楽CDを再生したい
音楽CDを再生する▶33ページ

再生中の便利機能

■途中で停止したタイトルを、つづきから再生する▶ 26 ページ

■いろいろな再生▶ 35 ページ

サーチやスロー再生、スキップなど、いろいろな再生ができます。

■音声や字幕、映像 / アングルなどの切り換え▶ 38 ～ 39 ページ

「視聴メニュー」(40 ページ)を使ってもさまざまな操作ができます。

■くり返し再生する▶ 42 ページ

番組全体、あるいは一定の範囲をくり返し再生できます。

シャープ製ファミリンク対応テレビと接続しているとき

次のボタンを押すと、テレビが本機からの入力(HDMI 入力)に切り換わり、本機の画面が表示されます。

→タイトルリストを表示

ホーム →ホーム画面を表示

▶再生 →本機の再生画面を表示
(電源「入」からの操作でテレビの入力が切り換わります。)

テレビ操作ボタン

電源 →テレビと本機の電源「切」
(本機が停止状態のときに液晶テレビの電源を切ると、本機の電源も自動的に切れます。本機でディスクを再生しているときは、電源は切れません。)

入力切換 →本機の再生画面を表示
(液晶テレビの入力を本機が接続されている端子に切り換えると、本機の電源が自動的に入ります。)

ご注意

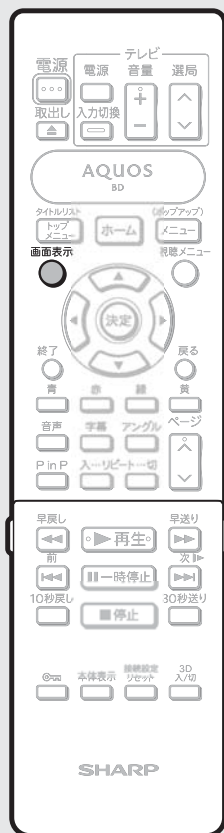
・一般に BD や DVD の再生音量は小さく感じられるため、テレビの入力を切り換えたときなど、突然音が大きくなったり小さくなったりする場合があります。BD や DVD 再生時にテレビやアンプの音量を上げたときは、再生が終わったら必ず音量を下げてください。

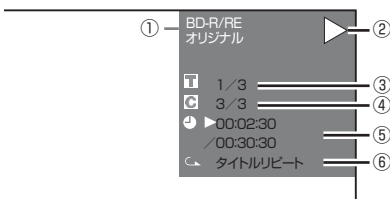
お知らせ

・再生についてお困りのときは「故障かな？と思ったら」(→ 72 ～ 73 ページ)をご覧ください。

次ページへつづく ▶▶▶

ディスク情報（カウンター表示など）をテレビ画面に表示する

再生時のカウンターなどの情報をテレビ画面に表示できます。

⇨ ディスクの再生時間などの情報を表示します（約 1 分後に自動的に消えます）

（BD 操作中の例）

・もう一度「画面表示」ボタンを押すと消えます。再生中であれば再生時間表示だけになります。再生時間表示を消すには、もう一度「画面表示」ボタンを押してください。

① ディスクの種類／録画フォーマットを表示
- 挿入したディスクの種類を表示
- オリジナルタイトルを再生するかプレイリストを再生するかを表示
- DVDディスクを再生するときは、加えて録画フォーマットを表示
  VR(オリジナル／プレイリスト) ：VRフォーマット
  V(オリジナル) ：ビデオフォーマット

② 動作表示

▶ 再生中

■ 再生停止時

③ 再生中のタイトル番号／そのタイトル数を表示（停止中はディスク内の総タイトル数を表示）

④ 再生中のチャプター番号／そのタイトルの総チャプター数を表示（停止中はディスク内の総チャプター数を表示）

⑤ 再生中は、カウンター／再生中のタイトルの総時間を表示

⑥ リピート再生をしているときに表示

・一部の市販の BD ビデオでは、チャプターやカウンターの総時間表示が出ないことがあります。

市販の BD ビデオや DVD ビデオを再生する

映画など市販の BD ビデオや DVD ビデオディスクを再生します。

ふたを開ける

暗証番号を入力するときに押します。

お知らせ

- 市販の BD ビデオや DVD ビデオディスクには、「トップメニュー」や「ディスクメニュー」が記録されているものがあります。
  ディスクにメニューが記録されている場合は、再生したいタイトルや字幕設定を選べることがあります。
- 市販の BD ビデオや DVD ビデオを再生するときは、ディスクの取扱説明書や画面の指示にしたがって操作してください。
- 海外テレビ番組の DVD ビデオなどで、吹き替えの音源がない部分がオリジナル音源（外国語）になり日本語と交互に切り換わる場合があります。
- 市販の BD ビデオの再生中、コンテンツによっては自動で静止画になるものもあります。このようなコンテンツを再生し、自動で静止画になったときは を押して静止画を解除できます。

メモ

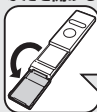
- ディスクによってはトップメニューを「タイトル」と呼んでいるものもあります。この場合も「トップメニューを表示させるには」(→**26**ページ）と同じ操作で表示できます。

- DVD ビデオの場合、再生できるディスクでも、シーンによっては視聴制限がかけられている場合があります。

「はい」を選んだとき
暗証番号を入力して、視聴制限のかかったシーンを再生できます。暗証番号を 3 回まちがえると再生できません。（まちがえたときは、視聴制限のかかったシーンを飛ばして再生する、再生を停止する、ディスクが排出される、などディスクによって動作が異なります。）

「いいえ」を選んだとき
視聴制限のかかったシーンを再生しません。（視聴制限のかかったシーンを飛ばして再生する、再生を停止する、ディスクが排出される、などディスクによって動作が異なります。）

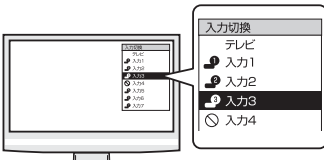
- BD ビデオの場合も視聴制限のため再生できない場合があります。そのようなときは、再生を止めてから BD の視聴制限の設定を変更してください。
- BD/DVD ビデオ視聴制限年齢について **54** ページ

次ページへつづく ▶▶▶

1 テレビと本機の準備をします
18~19ページ

• シャープ製のテレビをご使用の場合は、本機のリモコンでテレビを操作できます。

① テレビ操作部の 電源 を押してテレビの電源を入れます。

② 電源 を押して本機の電源を入れます。

③ テレビに向けたままテレビ操作部の 入力切換 を繰り返し押し、テレビの入力を切り換えます。
例：本機をテレビの「外部入力 3」に接続したとき

• 入力が正しく切り換わると、本機の映像がテレビに映ります。

本機の映像がテレビに映れば準備完了です。

メモ

・本機のリモコンで操作できるテレビは、シャープ製のテレビです。
・シャープ製以外のテレビを操作するときは、テレビのリモコンで操作してください。
・BD ビデオを再生して楽しむ場合、本機は BD-LIVE やゲーム、ブックマークなどのデータを保存するために USB メモリーを使用します。USB メモリー（USB2.0、2GB 以上）を本機に装着しておくことをおすすめします。（→ **27** ページ）

2 ディスクを挿入します
20 ページ

・挿入して読み込みが完了すると、自動的に再生が始まります。
・セットすると自動的にメニュー画面が表示されるディスクもあります。画面の指示にしたがって操作してください。
・ディスクによっては、読み込みに時間がかかる場合があります。

3 再生ボタンを押します

自動的に再生されないときや一度停止したときは

再生 押す ⇨ 再生

• 途中で停止したあとに 再生 を押したときは、つづきから再生されます。

4 再生を止めるときは

停止 押す

つづきから見る・はじめから見る

市販の BD ビデオ	BD-RE / BD-R	市販の DVD ビデオ	DVD-RW VR / DVD-RW ビデオ	DVD-R VR / DVD-R ビデオ	音楽用 CD

• 再生を停止した後で 再生 を押すと、停止したところから再生されます。

• 停止 を 2 回押して停止した後、再生 を押すと、はじめから再生されます。

お知らせ

・つづき再生は、ディスクを取り出す、電源を切る、などの操作を行うと働かなくなります。
・その他、ディスクや再生状態によっては、つづき再生が働かない場合があります。
・音楽用 CD はつづき再生が働きません。
・BONUS VIEW™ などの BDJ（Java）に対応した BD ビデオはつづき再生はできません。

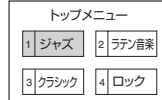
トップメニューを表示させるには

（トップメニューがある場合）

市販の BD ビデオ	BD-RE / BD-R	市販の DVD ビデオ	DVD-RW VR / DVD-RW ビデオ	DVD-R VR / DVD-R ビデオ	音楽用 CD

1 ディスクを挿入し、トップメニューを表示させます

トップメニューの例

トップメニュー
1 ジャズ　2 ラテン音楽
3 クラシック　4 ロック

• 画面の指示にしたがって操作してください。

ディスクメニューを表示させるには

（ディスクメニューがある場合）

市販の BD ビデオ	BD-RE / BD-R	市販の DVD ビデオ	DVD-RW VR / DVD-RW ビデオ	DVD-R VR / DVD-R ビデオ	音楽用 CD

1 ディスクを挿入し、ディスクメニューを表示させます

ディスクメニューの例

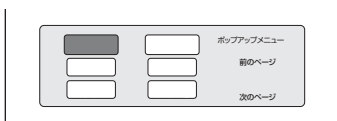
• 画面の指示にしたがって字幕や音声を選ぶなどの操作をしてください。

ポップアップメニューを表示させるには

市販の BD ビデオ	BD-RE / BD-R	市販の DVD ビデオ	DVD-RW VR / DVD-RW ビデオ	DVD-R VR / DVD-R ビデオ	音楽用 CD

BD ビデオには、再生を止めることなくいろいろな操作ができる「ポップアップメニュー」があります。

1 再生中にポップアップメニューを表示させます

ポップアップメニューの例

・ディスクによって表示される内容が異なります。ポップアップメニューの見かたや操作のしかたについては、ディスクに付属の取扱説明書をご覧ください。

2 項目を選んで決定します

3 操作が終ったら、ポップアップメニューを消します

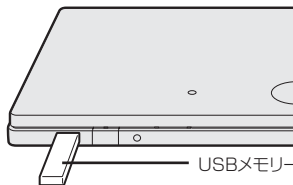
• ポップアップメニューが自動的に消えるディスクもあります。

BONUS VIEW™、BD-LIVE について

BD ビデオには、BONUS VIEW ™(ボーナスビュー)や BD-LIVE(BD ライブ)という新しい再生機能に対応したものがあります。
BONUS VIEW ™(ボーナスビュー)：2 画面に対応した副映像、副音声や、字幕が同時に楽しめます。本編再生中の画面に小画面で表示されます。
BD-LIVE(BD ライブ)：本機をインターネットに接続して特典映像などのさまざまな情報をダウンロードすることができます。

• BD ビデオに記録されているデータやダウンロードしたデータは、USB メモリーに保存されます。本機では、USB メモリーを使います。本機前面の外部メモリー端子に USB メモリー(USB2.0、2GB 以上)を接続してお楽しみください。

お知らせ

• BD-LIVE(BD ライブ)対応のディスクの BD ライブ機能を楽しむときは、本機前面の外部メモリー端子に USB メモリー(USB2.0、2GB 以上)を接続してください。
• USB メモリーを取り付けたり外したりする場合は、本機の電源を必ず切ってください。

※ 本機の外部メモリー端子に USB メモリーを接続したときは、データ保存のためのフォルダ「Istor」とファイル「th.bin」が自動で作成されます。

BONUS VIEW™対応の BD ビデオを楽しむ

市販の BD ビデオ	BD-RE / BD-R	市販の DVD ビデオ	DVD-RW VR / DVD-RW ビデオ	DVD-R VR / DVD-R ビデオ	音楽用 CD

1 テレビと本機の準備をします 18~19ページ

① テレビの電源を入れます。
② 本機の電源を入れます。
③ テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えます。

2 BD ビデオを挿入します 20 ページ

次ページへつづく ▶▶▶

3 再生を始めます

25 ページ

4 副映像などを表示させます

主映像／音声　　副映像／音声

- ディスクによっては、副映像／音声が自動的に再生されます。また、再生可能な領域が制限されることがあります。
- 再生方法はディスクによって異なります。再生の手順は、ディスクの説明書をご覧ください。

BD-LIVE 対応の BD ビデオを楽しむ

市販の BD ビデオ ｜ BD-RE ｜ BD-R ｜ 市販の DVD ビデオ ｜ DVD-RW VR ｜ DVD-RW ビデオ ｜ DVD-R VR ｜ DVD-R ビデオ ｜ 音楽用 CD

1 ①ネットワークの接続 51 ページ と設定 62 ページ をします

② USB メモリーを装着します

- USB メモリーを取り付けたり外したりする場合は、本機の電源を必ず切ってください。
- USB メモリーを装着しないと、BD-LIVE は楽しめません。

2 テレビと本機の準備をします

18~19ページ

① テレビの電源を入れます。
② 本機の電源を入れます。
③ テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えます。

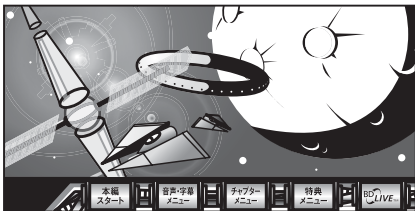
3 BD ビデオを挿入します

20 ページ

4 再生を始めます

25 ページ

5 ディスクの取扱説明書に従い、BD-LIVE（BD ライブ）の操作をします

画面は、一例です。

- BD-LIVE（BD ライブ）でダウンロードされた映像情報などは、USB メモリーに保存されます。USB メモリーから再生するときは、ダウンロード時に視聴していたディスクを本機に挿入してください。別のディスクを挿入すると、USB メモリーに保存された情報は再生できません。
- 前に記録された他のデータを含む USB メモリーを使うと、映像や音声が正しく再生されないことがあります。
- データが USB メモリーに保存されるまで一定の時間がかかります。（データが保存されるまでの時間は、インターネットの接続速度や番組のデータ容量により異なります。）

お知らせ

USB メモリーに保存されたデータは消去できます。

- BD-LIVE（BD ライブ）でダウンロードした情報は、不要になれば消去することができます。**64** ページ「USB メモリーのデータを消去する」をご覧ください。

USB メモリーの容量が足りないときは

- データが保存されません。画面にメッセージが表示されます。不要なデータを削除するか、新しい USB メモリーをお使いください。

USB メモリーを再生中に取り外すと

- BD ビデオの再生が停止します。再生中は USB メモリーを取り外さないでください。

BD-LIVE（BD ライブ）を楽しむためのソフトを更新できます。

- BD-LIVE（BD ライブ）機能は、専用のソフトを使用しています。BD-LIVE（BD ライブ）に接続すると、ソフトを最新のものに更新できます。

- BD-LIVE（BD ライブ）で楽しむために、ブロードバンドサービスに接続してお使いになることをおすすめします。
- BD-LIVE（BD ライブ）で映像などの情報を USB メモリーに保存中は、再生の操作が制限されることがあります。
- BD-LIVE（BD ライブ）は、自動的にインターネットに接続し、楽しむ機能です。BD-LVE（BD ライブ）対応のディスクが、本機やディスクの識別信号（ID）をインターネット経由でコンテンツプロバイダに送信することがあります。
- 本機は、自動的にインターネットに接続しないように設定することができます。設定のしかたについては、**55** ページ「BD-LIVE 設定」をご覧ください。

市販のブルーレイ3D™(3D対応BD)を再生する

本機と3D対応テレビをHDMIケーブルで接続すると、市販のブルーレイ3D™を再生し、臨場感ある3D映像を楽しむことができます。

3D 映像を視聴される場合のご注意

光過敏の既往症がある人、心臓に疾患がある人、および体調不良の人は視聴しない

・ 病状が悪化する原因となることがあります。

3D 映像の視聴年齢は、およそ 5 ～ 6 歳以上を目安にする

・ お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、突然体調が悪くなる場合があります。お子様がご視聴になる際は、目の疲れがないかを保護者の方が、ご注意ください。

視聴中に疲労感、および不快感など異常を感じた場合には、視聴を止め、適度な休憩をとる

・ 視聴を続けると体調不良の原因となることがあります。

3D 映画などを視聴する場合は、1 時間程度を目安に適度な休憩をとる

・ 長時間の視聴にともなう視聴疲労の原因になることがあります。

ご注意

- 本機と接続するテレビが 3D に対応していない場合は、3D 映像をご覧になることはできません。
- 接続する 3D 対応テレビによっては、テレビ側の 3D 視聴設定が必要になることがあります。詳しくは、テレビに付属の取扱説明書をお読みください。
- 早送り、早戻し中は 2D 再生となります。

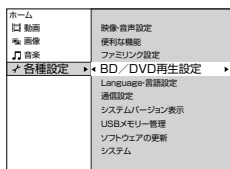
■必要な準備は

・「HDMI 映像出力設定」(→ **53** ページ)を「オート」に設定する。

1 テレビと本機の準備をします

18~19ページ

2 ホーム画面を表示させます

3 「各種設定」－「BD/DVD再生設定」を選んで決定します

・ ▷を押しても決定できます。

4 「3D切換設定」を選んで決定します

5 「オート」を選んで決定します

・ 2Dで再生したいときは、「2D」を選びます。

6 設定を終了します

7 ブルーレイ3D™を挿入します

・ ブルーレイ3D™を挿入すると、自動的に再生が始まります。
・ 停止中に 3D入/切 を押しても「3D切換設定」が行えます。

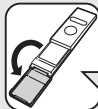
8 ブルーレイ3D™の再生に関する注意文が表示されます

・ 3D視聴時の注意文を表示させたくないときは、「ホーム」－「各種設定」－「BD/DVD再生設定」－「3D通知設定」で「しない」に設定します(→ **55**ページ)。

9 自動的に再生が始まらないときは、再生ボタンを押します

番組が録画されたBDやDVDを再生する

- 番組が録画されたBD-REやBD-Rを「タイトルリスト」から再生します。
- DVDディスクは、ファイナライズされたディスクが再生できます。

ふたを開ける

ご注意

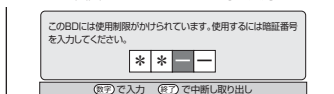
- BD-RE Ver.1.0(カートリッジ入り)は、本機で再生できません。また、本機に挿入することもできません。
- DVDレコーダーで録画したディスクを再生する場合はファイナライズが必要です。
  DVD-RW（VRフォーマット）
  DVD-RW（ビデオフォーマット）
  DVD-R（VRフォーマット）
  DVD-R（ビデオフォーマット）
- ファイナライズを行ったビデオフォーマットのDVDディスクはタイトルリストが表示されません。タイトルメニュー画面が表示されます。(→ 32ページ)
- **デジタル放送を録画したディスクを再生したとき、つぎの操作はできません。**
  - **番組情報は表示できません。**
  - **連動データは表示できません。**
  - **字幕は表示できません。**

1 テレビと本機の準備をします 18~19ページ

① テレビの電源を入れます。
② 本機の電源を入れます。
③ テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えます。

2 ディスクを挿入します 20ページ

- ディスクをセットして読み込みが完了すると、自動的に先頭のタイトルから再生が始まります。

BDを挿入したとき
- BDレコーダーで使用制限をかけられたBDを挿入すると、次のような画面になります。暗証番号を入力してください。

- 暗証番号を3回まちがえると、ディスクが排出されます。再度ディスクを挿入してから、正しい暗証番号を入力してください。

暗証番号を忘れたとき 55、58ページ

3 タイトルリストを押します

タイトルリストを表示させたいときは

4 見たい番組（タイトル）を選んで決定し、再生します

タイトルリストの画面例

■タイトルリスト(BDオリジナル)

春のイタリア観光
00/00 木 00:00 午後

1	春のイタリア観光	*/**	[*]	60分
2	K-5格闘技選手権	*/**	[*]	60分
3	新春芸能人大集合	*/**	[*]	60分
4	マニュアル浜口	*/**	[*]	120分
5	ウィンブルドン2010	*/**	[*]	60分
6	俺は待ってないぜ	*/**	[*]	60分

5/全50タイトル▼

- タイトルが6つ以上あるときは：ページ(∧/∨)でページを切換えます。

5 再生を止めるときは

タイトルリストについて

• プレイリストを選択することもできます。

■タイトルリスト

・「タイトル保護」が設定されている場合には「 」が付きます。
・タイトルリスト画面を終了するときは、「戻る」または「終了」ボタンを押します。
※タイトルリストに表示できない文字（日本語・英語以外）のタイトルは、「プログラム 1」などと表示されます。

・各画面下に操作に使うボタンの説明が表示されますので、参考にしてください。

お知らせ

・タイトルリストに表示されるタイトル名は、最大で 40 文字です。他機で録画したディスクなどで本機で表示できない記号や文字があったときは「*」表示となります。

■プレイリスト表示
（プレイリストのある DVD ディスクを挿入したとき）

1 タイトルリストを表示させて

（プレイリスト）

2 番組を選んで決定します ⇨ 再生

・プレイリストとは、録画したタイトルから好きなシーンを集めて作成するタイトルのことです。
・本機では、プレイリストは作れません。

確認
準備
基本
再生
接続
各種設定
参考

ご注意

・DVD-R DL（2 層）ディスクは、再生できない場合があります。

お知らせ

・ファイナライズとは、録画したディスクを他機でも再生できるようにする操作です。（本機にはファイナライズを行う機能はありません。録画した機器でファイナライズを行ってください。）
・ファイナライズされたディスクは、タイトルメニューなどの画面がそれぞれ異なりますが、再生できます。

ファイナライズされた DVD を再生する

市販の BD ビデオ | BD-RE | BD-R | 市販の DVD ビデオ | DVD-RW VR | DVD-RW ビデオ | DVD-R VR | DVD-R ビデオ | 音楽用 CD

DVD レコーダーで録画した DVD ディスクは、ファイナライズされたものが再生できます。（ファイナライズされていない DVD ディスクは本機で再生できません。）

1 テレビと本機の準備をします 18~19ページ

① テレビの電源を入れます。
② 本機の電源を入れます。
③ テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えます。

2 ディスクを挿入します 20 ページ

・ディスクを挿入して読み込みが完了すると、自動的に再生が始まります。

3 自動的に再生されないときや一度停止したときは、再生ボタンを押します

▶再生 押す ⇨ 再生

・途中で停止したときは、つづきから再生されます。

4 再生を止めるときは ■停止 押す

■タイトルを選んで再生させるには

1 停止中にタイトルメニューを表示させます

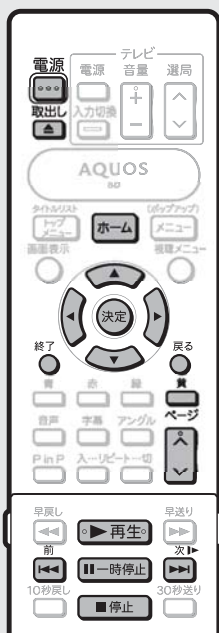
2 タイトルを選んで決定します

⇨ 再生

（タイトルメニュー例）

■タイトルメニュー	3／全 3ページ
タイトル7	世界のモーターショー
タイトル8	古代遺跡探訪

音楽 CD を再生する

市販の音楽 CD を再生できます。

お知らせ

- 音楽用 CD を再生したとき、視聴メニューは選択できません。
- 音楽用 CD を再生したとき、音声切換は行えません。

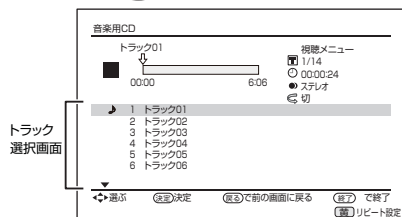
1 テレビと本機の準備をします 18~19ページ

① テレビの電源を入れます。
② 本機の電源を入れます。
③ テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えます。

2 CD を挿入します 20 ページ

・読み込みが完了すると自動的に再生されます。

3 自動的に再生されないときや一度停止したときは
再生ボタンを押します

トラック選択画面

4 曲を選んで再生したいときは、再生中または停止中に、再生したい曲を選んで決定します

- ページの送り／戻しを行いたいときはページボタンまたは左右ボタンを押します。

5 再生中に

⇨ [次] を押すと、次のタイトル（トラック）を頭出しします
[前] を押すと、いま再生しているタイトル（トラック）の先頭に戻ります
2 回続けて押すと、前のタイトル（トラック）の先頭に戻ります

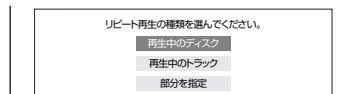
6 一時停止をするときは [一時停止] 押す

7 再生を止めるときは [停止] 押す

・音楽用 CD 画面を終了するときは、「戻る」または「終了」ボタンを押します。

くり返し再生する（リピート再生）

1 リピート再生画面を表示します

（リピート設定）

・「戻る」ボタンを押すと音楽用 CD 画面に戻ります。

2 42 ページの操作でリピート再生します

MP3 ファイルを再生する

CD-R/-RW ディスク、DVD-R/-RW ディスクまたは USB メモリーに保存されている MP3 ファイルを再生できます。

1 テレビと本機の準備をします

18~19ページ

① テレビの電源を入れます。
② 本機の電源を入れます。
③ テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えます。

2 MP3 ファイルが保存されているディスクを挿入または、USB メモリーを取り付けてホーム画面を表示させます

20 ページ

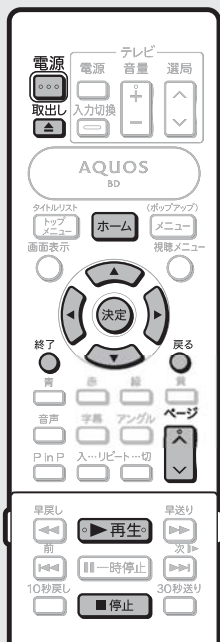
・USB メモリーを取り付けたり外したりする場合は、本機の電源を必ず切ってください。

ホーム 押す

3 「音楽」を選んで決定します

• フォルダの一覧画面になります。

■ディスクと USB メモリーの両方にデータがあるとき

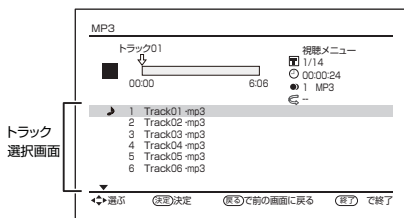
• ディスクまたは USB メモリーを選択する画面が表示されます。再生したい MP3 ファイルが保存されているメディアを選んで決定するとフォルダの一覧画面になります。

4 フォルダまたはファイルを選択します

• ページの送り／戻しを行いたいときはページボタンまたは左右ボタンを押します。

• フォルダを選んだときは、リモコンの決定ボタンを押してフォルダを開き、ファイルを選択します。

5 再生ボタンを押します

▶再生 押す

トラック選択画面

• 視聴メニューは選択できません。

6 曲を選んで再生したいときは、再生中または停止中に、再生したい曲を選んで決定します

• ページの送り／戻しを行いたいときはページボタンまたは左右ボタンを押します。

7 再生を止めるときは ■停止 押す

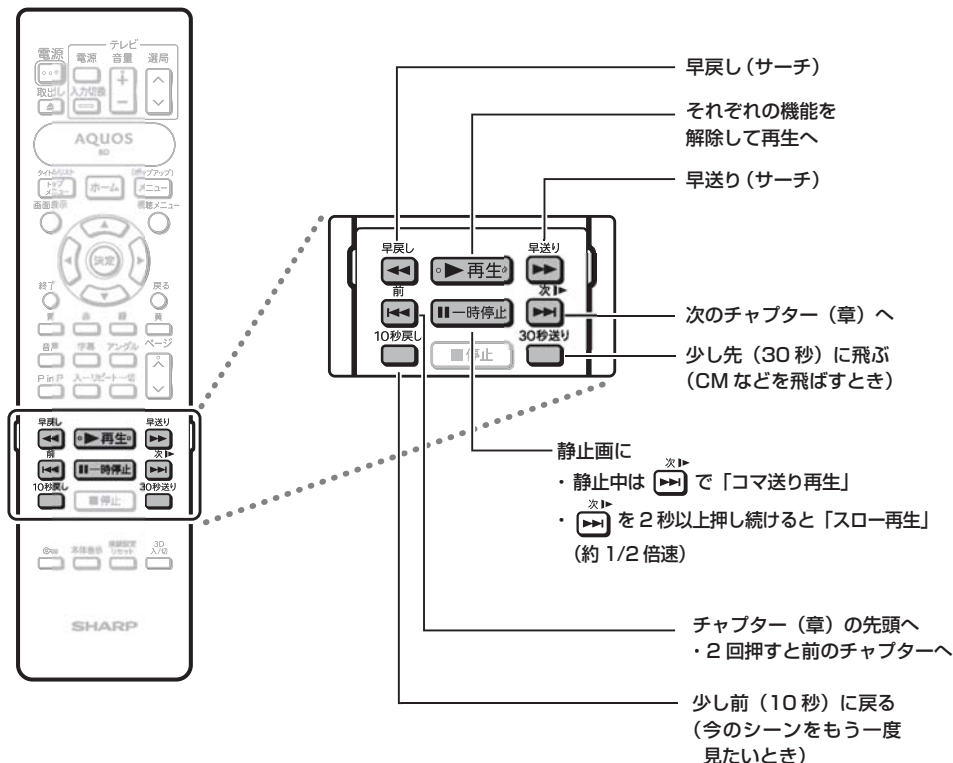
・MP3 画面を終了するときは、「戻る」または「終了」ボタンを押します。

• 早送り／早戻しサーチは、働きません。
• リピート再生は働きません。
• USB メモリー再生中、ディスクの挿入や取り出し操作を行なうと再生が停止します。

再生中に使えるボタン

ディスクの再生中に使えるいろいろな機能です。

各ボタンのおもなはたらき

- 早戻し（サーチ）
- それぞれの機能を解除して再生へ
- 早送り（サーチ）
- 次のチャプター（章）へ
- 少し先（30 秒）に飛ぶ（CM などを飛ばすとき）
- 静止画に
  - ・静止中は 次 ▶▶| で「コマ送り再生」
  - ・次 ▶▶| を 2 秒以上押し続けると「スロー再生」（約 1/2 倍速）
- チャプター（章）の先頭へ
  - ・2 回押すと前のチャプターへ
- 少し前（10 秒）に戻る（今のシーンをもう一度見たいとき）

・ディスクによって操作が異なったり、操作が禁止されている場合があります。ディスクの取扱説明書もご覧ください。

お知らせ

音楽用 CD の再生では、次の操作ができません。
・スロー再生・コマ送り・10 秒戻し・30 秒送り

MP3（音楽用データ）の再生では、次の操作ができません。
・早送り／早戻し・スロー再生・10 秒戻し・30 秒送り

早送り／早戻しについて
・早送り／早戻し中は、字幕は再生されません。
・ディスクや再生しているシーンによっては、早送りをしたとき、本書に記載のスピードにならない場合があります。

スロー再生について
・タイトルの最後になると、スロー再生が解除されます。
・音楽用 CD はスロー再生できません。
・本機は逆スロー再生できません。

静止画再生 / コマ送り再生について
・VR フォーマットの DVD-RW/-R 以外のディスクでコマ送り動作をしたときは映像がずれることがあります。
（BD ビデオや DVD ビデオでは、ディスクによって静止画再生／コマ送りの操作が禁止されているものもあります。）
・本機はコマ戻し再生はできません。
・BD-R/-RE ディスクではコマ送り再生はできません。

以下のときは、「故障かな？と思ったら」（→ **71** ページ）をご覧ください。
・早送り／早戻しがうまくいかないとき
・静止画再生／コマ送り再生がうまくいかないとき
・スロー再生がうまくいかないとき

次ページへつづく ▶▶▶

早送り / 早戻しする（サーチ）

市販の BD ビデオ | BD-RE BD-R | 市販の DVD ビデオ | DVD-RW VR DVD-RW ビデオ | DVD-R VR DVD-R ビデオ | 音楽用 CD

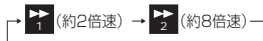
1 再生中に

⇨ **押すたびにサーチの速さが変わります**

BD/DVD ディスクを再生しているとき

1（約2倍速）→ 2（約8倍速）→ 3（約32倍速）

音楽用 CD を再生しているとき

1（約2倍速）→ 2（約8倍速）

- サーチの速さはディスクによって変わります。

2 サーチを解除するときは

再生 ― 押す

⇨ **サーチが解除され、再生画面に戻ります**

- タイトルをまたぐサーチはできません。

チャプター（章）の頭出しをする（スキップ）

市販の BD ビデオ | BD-RE BD-R | 市販の DVD ビデオ | DVD-RW VR DVD-RW ビデオ | DVD-R VR DVD-R ビデオ | 音楽用 CD

1 再生中に

⇨ 次 を押すと、次のチャプター（トラック）を頭出しします

前 を押すと､いま見ているチャプター（トラック）の先頭に戻ります

2 回続けて押すと、前のチャプター（トラック）の先頭に戻ります

静止画にする（静止画再生）

1 再生中に

⇨ **静止画再生します**

- 音楽用 CD を再生しているときは、一時停止の状態になります。

2 静止画再生を解除するときは

再生 ― 押す

⇨ **静止画再生が解除され、再生画面に戻ります**

- 一時停止 を押しても解除できます。

コマ送りする（コマ送り再生）

市販の BD ビデオ | BD-RE | BD-R | 市販の DVD ビデオ | DVD-RW VR | DVD-R VR | DVD-RW ビデオ | DVD-R ビデオ | 音楽用 CD

1 静止画再生中に

⇨ 次 を押して離すと、コマ送りされます

2 コマ送り再生を解除するときは

⇨ コマ送り再生が解除され、再生画面に戻ります

- DVD ディスクを再生する場合、VR フォーマットの DVD-RW/-R 以外のディスクでは、映像がずれることがあります。

- 本機はコマ戻し再生はできません。

スローモーションで見る（スロー再生）

市販の BD ビデオ | BD-RE | BD-R | 市販の DVD ビデオ | DVD-RW VR | DVD-R VR | DVD-RW ビデオ | DVD-R ビデオ | 音楽用 CD

1 静止画再生中に

⇨ 約 1/2 倍速のスロー再生します

- 次 でスロー再生になります。
- タイトルの最後になると、スロー再生が解除されます。

2 スロー再生を解除するときは

⇨ スロー再生が解除され、再生画面に戻ります

- タイトルをまたぐスロー再生はできません。

- 本機は逆スロー再生は出来ません。

少し先に飛ぶには（30 秒送り）

市販の BD ビデオ | BD-RE | BD-R | 市販の DVD ビデオ | DVD-RW VR | DVD-R VR | DVD-RW ビデオ | DVD-R ビデオ | 音楽用 CD

約 30 秒先に送ることができます。

- コマーシャルを飛ばして見たいときなどに便利です。

1 再生中に

⇨ 約 30 秒先にジャンプします
⇨ 連続押しは、最大 6 回（3 分先）まで行えます

少し前に戻すには（10 秒戻し）

市販の BD ビデオ | BD-RE | BD-R | 市販の DVD ビデオ | DVD-RW VR | DVD-R VR | DVD-RW ビデオ | DVD-R ビデオ | 音楽用 CD

約 10 秒前に戻すことができます。

- ちょっと見のがしたところを見直すときなどに便利です。

1 再生中に

⇨ 約 10 秒前に戻って再生します
⇨ 連続押しは、最大 6 回（1 分前）まで行えます

再生中に音声や字幕を切り換える

再生中に音声・字幕・映像の切り換えができます。

・次のような場合は、二ヶ国語放送など二重音声の番組でも、音声切換ができません。
　・ビデオフォーマットの DVD-RW/-R ディスク
　・PCM 音声を記録した DVD-RW/-R ディスク
・オーディオ機器とデジタル接続して使用している場合は、オーディオ機器側で音声切換の操作を行ってください。
・BD ビデオや DVD ビデオの再生中に視聴メニュー画面を表示すると、BD ビデオや DVD ビデオの再生操作ができなくなることがあります。このようなときは、視聴メニュー画面を閉じてください。
・ステレオ / モノラルで録画した番組やデジタル出力からのビットストリーム音声を再生する場合は、音声の切り換えができません。「デジタル音声出力設定」を「PCM」にしてください。

お知らせ

デジタル放送を録画したディスクを再生する場合は
・連動データ放送は再生できません。
・字幕は表示できません。

音声を切り換えるには

市販の BD ビデオ　BD-RE　BD-R　市販の DVD ビデオ　DVD-RW VR　DVD-R VR　DVD-RW ビデオ　DVD-R ビデオ　音楽用 CD

1 主・副音声のあるタイトル再生中に

⇨ 押すたびに音声を切り換えます

音声表示の例（約 5 秒後に消えます。）

・音声表示は、ディスクによって異なります。

押すたびに次のように切り換わります。

ニヶ国語（二重音声）放送が録画されている場合：
・「主」、「副」、または「主　副」表示となります。

「ステレオ放送」「モノラル放送」を録画した場合：
・「ステレオ」表示となります。（音声切換はできません。）

BD ビデオ／ DVD ビデオ：
・現在再生されている音声番号が表示されます。

■視聴メニューで切り換えるには

1 主・副音声のあるタイトル再生中に

⇨ 視聴メニュー画面を表示します

40 ページ

2 「●))」を選んで決定します

3 音声を選んで決定します

4 視聴メニュー画面を消すには

または

字幕を切り換えるには

市販の BD ビデオ	BD-RE BD-R	市販の DVD ビデオ	DVD-RW VR DVD-RW ビデオ	DVD-R VR DVD-R ビデオ	音楽用 CD

1 字幕のあるタイトルを再生中に

⇨ 押すたびに字幕を切り換えます
字幕を消すときは「切」を選びます

字幕表示の例

字幕がないディスクは、「ーー」と表示されます。

■視聴メニューで切り換えるには

1 字幕のあるタイトルを再生中に

⇨ 視聴メニュー画面を表示します

40 ページ

2 「…」を選んで決定します

3 字幕を選んで決定します

4 視聴メニュー画面を消すには

映像やアングルを切り換えるには

市販の BD ビデオ	BD-RE BD-R	市販の DVD ビデオ	DVD-RW VR DVD-RW ビデオ	DVD-R VR DVD-R ビデオ	音楽用 CD

1 複数の映像やアングルのあるタイトルを再生中に

⇨ 押すたびに映像やアングルを切り換えます

映像 1 の例

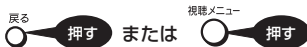
■視聴メニューで切り換えるには

1 複数の映像やアングルのあるタイトルを再生中に

⇨ 視聴メニュー画面を表示します

2 「🎥」を選んで決定します

3 映像を選んで決定します

4 視聴メニュー画面を消すには

メモ

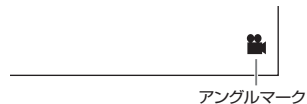
各機能の切り換えについて

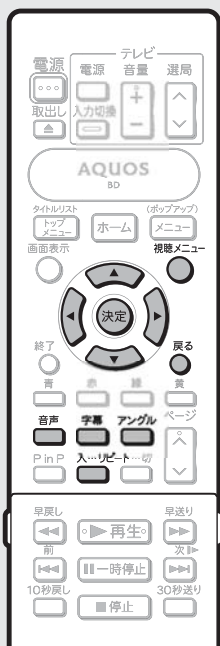
- 字幕、アングル、音声は、ディスクによっては、ディスクメニューを使って選ぶ場合があります。ディスクの取扱説明書もご覧ください。
- BD レコーダーで録画した BD-RE/-R に字幕が記録されていても、本機は字幕を表示できません。

アングル表示を出したいとき

- アングルが記録されているシーン（場面）で、アングルマークを表示するように設定できます。
- 「ホーム」－「各種設定」－「BD/DVD 再生設定」－「アングルマーク表示」（→ **55** ページ）で設定します。
- 表示したアングルマークは、終了 を押すと消えます。

アングルマーク

市販の BD ビデオ | BD-RE BD-R | 市販の DVD ビデオ | DVD-RW VR DVD-RW ビデオ | DVD-R VR DVD-R ビデオ | 音楽用 CD

再生中に設定をする（視聴メニュー）

再生しながら、いろいろな設定をまとめて行うことができます。

ふたを開ける

1 再生中に

⇨ 視聴メニュー画面を表示します

2 設定項目を選んで決定します

① **再生状態表示**
動作状態やディスクの種類

② **設定項目（次ページ参照）**
音声表示「 」はディスクによって異なります

③ **操作ガイド表示**

3 設定します（次ページ参照）

・画面右下の「操作ガイド表示」にしたがって操作してください。

4 設定を終わるとき

または

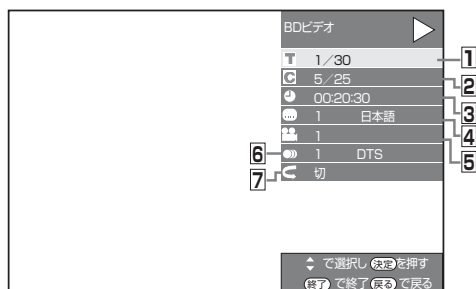
ご注意

- BD ビデオや DVD ビデオの再生中に視聴メニュー画面を表示すると、BD ビデオや DVD ビデオ側の操作ができない場合があります。このような場合は視聴メニュー画面を消してください。
- 音楽用 CD は、視聴メニューを選択できません。

お知らせ

- 市販のディスクによってはディスクメニューを使って機能を選択する場合や、視聴メニューでの機能が選択できないものがあります。ディスクの説明書をご覧ください。
- アングルや字幕などで「ーー」と表示される場合は、そのディスクに選択できるアングルや字幕が記録されていません。

各設定項目について

ディスクによって、設定できる項目は異なります。

■好きなところから見る

1 タイトル選択

・再生中のタイトル番号が表示されます。番号を選択してタイトルの頭出しができます。
①リモコンふた内の数字ボタンで、タイトル番号を選びます。
（番号を選びなおすときは、リモコンふた内のクリアボタンを押します。）
②リモコンふた内の決定ボタンを押します。
・リモコンの でも設定できます。

2 チャプター選択

・再生中のチャプター番号が表示されます。番号を選択してチャプターの頭出しができます。
①リモコンふた内の数字ボタンで、チャプター番号を選びます。
（番号を選びなおすときは、リモコンふた内のクリアボタンを押します。）
②リモコンふた内の決定ボタンを押します。
・リモコンの でも設定できます。

3 再生経過時間

・タイトルのはじめから現在までの経過時間が表示されます。時間を指定して頭出しができます。
①リモコンふた内の数字ボタンで、時間を設定します。
【例】1 時間 27 分 05 秒を設定するとき
0 1 2 7 0 5
（番号を設定しなおすときは、リモコンふた内のクリアボタンを押します。）
②リモコンふた内の決定ボタンを押します。
・リモコンの でも設定できます。
・BD ビデオの場合、ディスクによっては再生経過時間を表示できないものもあります。

■字幕・映像・音声を切り換える

4 字幕言語切換

・現在選ばれている字幕の種類が表示されます。
他の言語でも字幕が収録されている場合は、お好みの言語に切り換えられます。
・リモコンの 字幕 でも切り換えられます。

5 アングル番号／映像切換

・現在選ばれているアングルの番号が表示されます。
複数のアングルが収録されている映像の場合は、アングルを切り換えて楽しめます。
・「アングルマーク表示」（→ **55** ページ）設定により、複数のアングルが記録されているシーンで画面右下にアングルマーク を表示させるように設定することができます。
・リモコンの アングル でも切り換えられます。

6 音声表示切換

・現在選ばれている音声の種類が表示されます。
吹き替え音声や二重音声が収録されている場合は、音声を切り換えて楽しめます。
・リモコンの 音声 でも切り換えられます。

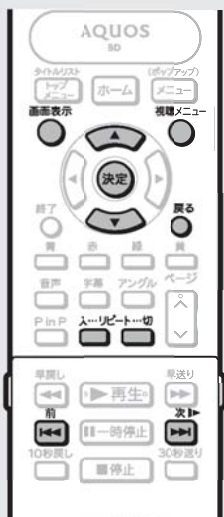
■くり返し再生する

7 リピート再生

・再生中のタイトル（チャプター）をくり返し再生したり、部分的にくり返し再生することができます。リモコンの 入…リピート でもリピート再生できます。（→ **42** ページ）

市販の BD ビデオ | BD-RE BD-R | 市販の DVD ビデオ | DVD-RW VR DVD-RW ビデオ | DVD-R VR DVD-R ビデオ | 音楽用 CD

くり返し再生する（リピート再生）

視聴メニューで、選んだタイトルやチャプター (章）をくり返し再生できます。

お知らせ

- ディスクによってはリピート再生が禁止されているものもあります。
- タイトルをまたぐ「部分を指定」でのリピートはできません。
- マルチアングル部分は「部分を指定」でのリピートはできません。
- BD ビデオは、「部分を設定」でのリピートはできません。

お知らせ

- リモコンの「画面表示」ボタンを押すと、リピートの状況が確認できます。

- 次 を押すと、リピート再生が中止され、次のチャプター（トラック）が再生されます。
- 前 を押すと、リピート再生が中止され、再生していたチャプター（トラック）の先頭に戻ります。

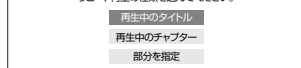
タイトルまたはチャプターをくり返すには

1 くり返したいタイトル（トラック）またはチャプターを選んで再生します

2 再生中に 入…リピート 押す ⇨ リピート再生の選択画面を表示します

- 「視聴メニュー」（→ **40** ページ）でもリピート再生ができます。

3 リピート再生の種類を選んで決定します

⇨ リピート再生を開始します

- 音楽 CD の場合は、「再生中のディスク」または「再生中のトラック」を選びます。

再生中のタイトル：	再生中のタイトルをくり返し再生
再生中のチャプター：	再生中のチャプターをくり返し再生
部分を指定：	下記「特定の部分をくり返すには」参照

選択画面を消すには 戻る 押す

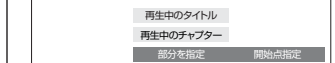
リピート再生を解除するには リピート…切 押す

- 「視聴メニュー」（→ **40** ページ）でも「切」にできます。

特定の部分をくり返すには

1 上記の手順 **3** で「部分を指定」を選んで決定します

2 開始点で 決定する

3 終了点で 決定する

⇨ 設定された範囲でリピート再生を開始します

リピート再生を解除するには リピート…切 押す

- 「視聴メニュー」（→ **40** ページ）でも「切」にできます。

メディアに保存された写真を表示する（画像再生）

- CD-R/-RW、DVD-R/-RW、USB に保存されている写真（JPEG ファイル）をテレビ画面で楽しむことができます。通常の再生では静止画が一枚ずつ表示されます。「スライドショー」では静止画が自動的に次々と切り換わります。
- JPEG ファイルとは、静止画ファイル（写真やイラストなど）を保存するファイル形式のひとつです。

■本機で再生できないファイル形式について

- JPEG 以外の静止画（TIFF など）は再生できません。
- JPEG 形式でもファイルによっては再生できない場合があります。
- プログレッシブ JPEG は再生できません。
- 動画ファイルや音声ファイル、また JPEG ファイルであっても MOTION JPEG は再生できません。

■その他、本機で再生できないファイルについて

- お手持ちのコンピュータで作成や修正、コピー等、編集された静止画は一部再生できない場合があります。

■静止画を再生するとき、次のような場合があります。

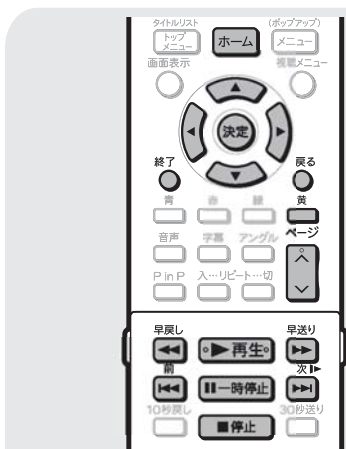
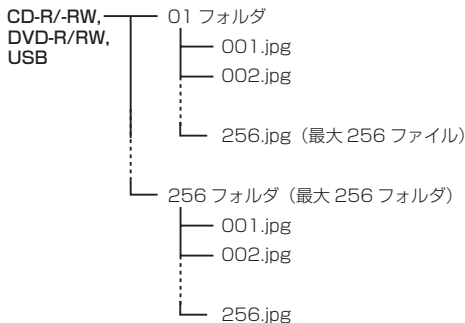
- フォルダ数やファイル数、データの容量によっては、再生に時間がかかることがあります。
- EXIF 情報は表示されません。EXIF（Exchangeable Image File Format）とは、主に JPEG 圧縮で用いられる、画像ファイルに含まれる様々な情報を格納するための規格です。（詳しくは http://exif.org をご覧ください。）

■静止画を保存した CD-R/-RW、DVD-R/-RW、USB ディスクの再生について

- CD-R/-RW、DVD-R/-RW、USB の場合、音楽や映画などと静止画が混在したディスクは再生できない場合があります。
- マルチセッション・ディスクは再生することができません。
- 画像加工ソフトで加工（回転や上書き保存）した静止画やインターネット、メールなどから取り込んだ静止画は、再生できない場合があります。
- 本機は、次のようなデータが保存された CD-R/-RW が再生できます。
  - ISO9660 または Joliet フォーマットの CD-R/-RW
  - EXIF 情報を含んだ画像ファイル
  - 画像サイズ：最小縦 32 ×最小横 32 ～最大縦 3672×最大横 6528 ピクセル
  - フォルダ数：最大 256
  - ファイル数：1 フォルダ内最大 256/5 階層
  - ファイルサイズ：8MB 以下

■静止画像 (JPEG) のフォルダ構造

CD-R/-RW、DVD-R/RW、USB ディスク上に次のようなフォルダを作ることにより、本機で静止画を再生することができます。

- 再生できるフォルダ階層は 1 階層のみです。

ご注意

- USB メモリーを取り付けたり外したりする場合は、本機の電源を必ず切ってください。

フォルダを選んで再生する

1 静止画が保存されたディスクを挿入または、USB メモリーを取り付けてホーム画面を表示させます

ホーム → 押す

2 「画像」を選んで決定します

- フォルダの一覧画面になります。

■ディスクと USB メモリーの両方にデータがあるとき

- ディスクまたは USB メモリーを選択する画面が表示されます。見たい写真が保存されているメディアを選んで決定するとフォルダの一覧画面になります。

- サムネイル設定ができるデジタルカメラの JPEG データは、サムネイルが表示されます。
- サムネイル設定のない JPEG データは、フォルダの一覧画面が表示されます。
- USB メモリー内のデータを再生中に、リモコンまたは本機の取り出しボタンが押されたり、ディスクが本機に挿入されると再生が停止されます。

次ページへつづく ▶▶▶

3 見たい写真のあるフォルダを選んで決定します

■フォルダ選択中のとき

- ページ でページを送り／戻しすることができます。
- 決定 を押すと、フォルダ内の写真が再生されます。

■再生中のとき

- 1つ前の写真に戻るとき：前 早戻し のいずれかを押します。
- 次の写真に進むとき：次 早送り のいずれかを押します。

■フォルダを選び直したいとき

- 終了 または ■停止 を押してフォルダの一覧画面に戻してから 戻る を押すと、フォルダ選択画面に戻ります。

4 写真を見終わったら

■停止 押す

スライドショーで再生する

1 「フォルダを選んで再生する」の手順 3 で、再生ボタンを押します

▶再生 押す

- 選んだフォルダ内の静止画が、スライドショー再生されます。
- II一時停止 を押すと、スライドショー再生が中断されます。

再開するときは ▶再生 を押します。

2 スライドショー再生を終了します

■停止 押す

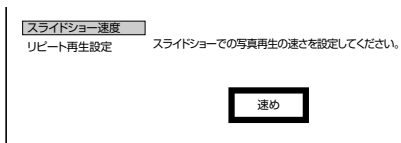
- 別フォルダの静止画をスライドショー再生するには、戻る を押したあと、再生したいフォルダを選びます。

スライドショーのスピードを設定する／繰り返し再生を設定する

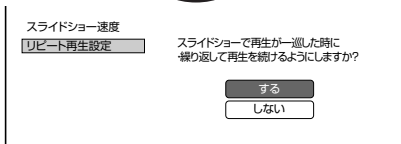
1 フォルダ選択画面の表示中に、写真再生設定を表示させます

黄 押す

- 「スライドショー速度」「リピート再生設定」の設定画面が表示されます。

2 「スライドショー速度」を選んで決定します

3 スライドショーの速度を選んで決定します

- 「速め」「ノーマル」「遅め」「ゆっくり」のいずれかを選び

4 「リピート再生設定」を選んで決定します

5 「する」を選んで決定します

6 設定を終了します

接続と設定

この章では、テレビと本機との接続、本機をより活用していただくための設定などについて説明しています。

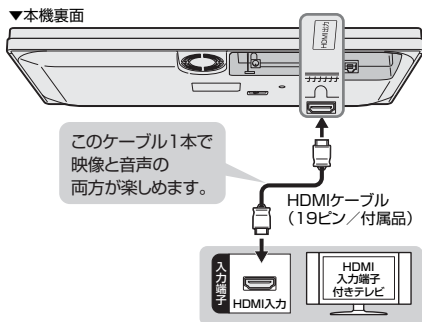
HDMIケーブルでテレビと接続する

HDMI 出力端子は、映像と音声のデジタル信号を 1 本のケーブルでつなぐことができる新しい規格のデジタル専用端子です。

お知らせ

・ 本機が接続できるテレビは、HDMI端子付きのみです。

重要

- 安全のため本機とテレビの電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
- コード類は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
- テレビ側の接続は、テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 電源を入れるときは、テレビの電源を入れたあとに本機の電源を入れてください。

・「**ファミリンク機能**」を搭載したシャープ製のテレビ「アクオス」と接続すると、テレビのリモコンまたは本機に付属のリモコンで、テレビと本機の操作が行えます。

「AQUOS純モード」について
- 「ファミリンク機能」を使用する設定をしているとき、本機のHDMI端子からは「アクオス」に最適な画質に調整された映像が出力されます。

ファミリンク対応機種は?

- 以下の手順で「ファミリンク対応」および「AQUOS純モード」対応の機種がご確認いただけます。
  ① DVD/BDサポートステーション http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/index.htmlにアクセスします。
  ② 「■使い方が分からないときは」の「?Q&A情報」をクリックします。
  ③ 「■「Q&A」ピックアップ情報（よくあるご質問）」の「▼AQUOSファミリンクとは?　対応している機種は?」をクリックします。
  ④ 確認したい製品（「液晶テレビ AQUOS」、「AQUOSハイビジョンレコーダー／AQUOSブルーレイ」、「AQUOSオーディオ／AQUOSサラウンド（BD1ビットシアターシステム／1ビットシアターラックシステム）」）をクリックします。

お知らせ

・ 「HDMI映像出力設定」（解像度）は「オート」に設定されます。
「オート」設定状態で正常な映像が得られないときは、下記の「付属のHDMIケーブル（19ピン）を使ってテレビと接続したとき」の表を参考に出力解像度を変更してください。
・ DVIデジタル入力端子付きの機器とDVI-HDMI変換ケーブル（市販品）を使用して接続したときは、正常な映像にならない、または映らない場合があります。（本機のHDMI出力端子は、HDMI機器との接続を目的に設計されています。また、DVI-HDMI変換ケーブルを使いDVI機器と接続したときは、DVI機器に音声が入力されません。）

「HDMI映像出力設定」（→53ページ）と「音声出力設定」（→53ページ）が必要な場合は、「ホーム」－「各種設定」－「映像・音声設定」で設定を行ってください。

※「AQUOS純モード」に対応した「アクオス」と接続すると、BDビデオ/DVDビデオ再生時や、ホーム画面操作時、写真再生時に、自動的に「アクオス」で画面サイズ調整や映像調整が行われ、最適な映像を楽しむことができます。

■付属の HDMI ケーブル（19 ピン）を使ってテレビと接続したとき

設定する項目	選ぶ内容
解像度の設定 「映像・音声設定」－「HDMI 映像出力設定」	「HDMI 映像出力設定」－ 「オート」「1080p」「1080i」「720p」「480p」 • 通常は「オート」に設定します。
デジタル音声出力の設定 「映像・音声設定」－ 「音声出力設定」	「音声出力設定」 「PCM」「ビットストリーム (ミックス)」「ビットストリーム」 • 通常は「PCM」に設定します。

- 「HDMI 映像出力設定」を「オート」以外に設定するとき、接続先で対応していない解像度は選択できません。（接続先機器の電源が入っていないときも選択できません。）
- HDMI 端子から 480p または 480i の出力をしているときは、96kHz/192kHz の PCM 音声は、48kHz で出力されます。

オーディオ機器と接続する

本機をさらに楽しむために、必要に応じてオーディオ機器と接続しましょう。

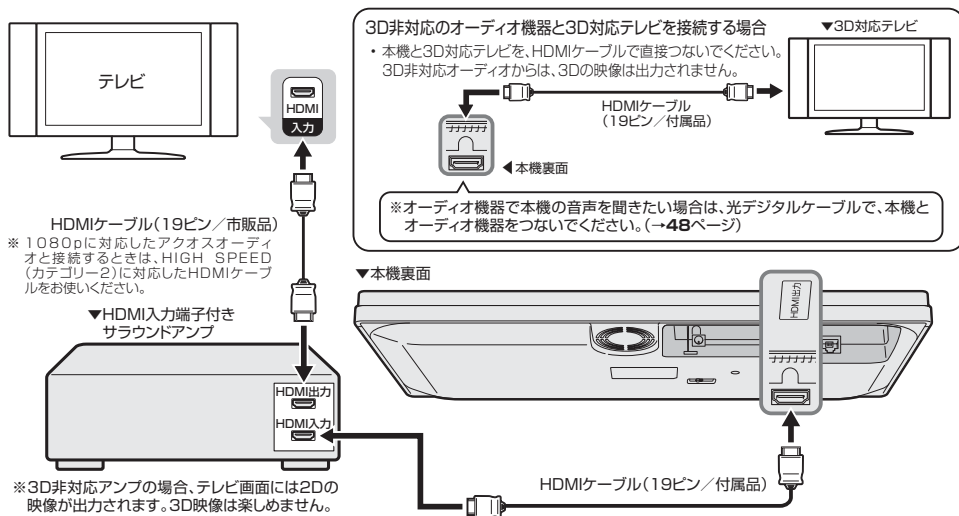
重要

- 安全のため本機・テレビ・接続する機器の電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
- 接続する端子に合ったケーブル類を使って、接続してください。
- ケーブル類は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
- 接続する機器側の接続については、接続する機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

オーディオ機器を接続する場合

HDMI接続で音声を楽しむときは

本機の音声をHDMI入力端子付きオーディオ機器で楽しむための接続です。

- 次世代オーディオフォーマットのデコードに対応したAV アンプなどとHDMI 接続することにより、ブルーレイディスクに記録されている最大7.1chのロスレスオーディオ「DTS-HD Master Audio」や「ドルビーTrueHD」音声など大迫力の高音質サラウンド音声が楽しめます。
- オーディオ機器側の接続については、オーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- HDMIケーブルを使ってオーディオ機器と接続したときは、接続した機器に合わせて以下の設定を行ってください。
  ①接続した機器に合わせ、「音声出力設定」を「PCM」「ビットストリーム（ミックス）」「ビットストリーム」に設定します。設定内容は**53**ページをご覧ください。

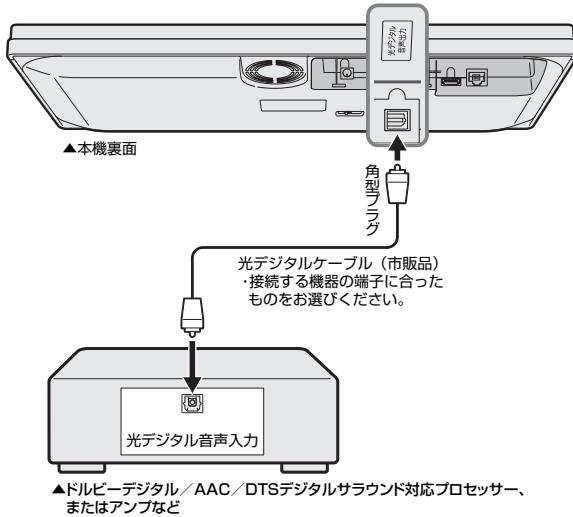
·オーディオ機器の接続について詳しくは、オーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。

ファミリンク機能を搭載したシャープ製のアクオスモデルと接続する場合 ……… 49～50ページ

次ページへつづく ▶▶▶

デジタル接続で音声を楽しむときは

本機の音声を光デジタル音声入力端子付きオーディオ機器で楽しむときの接続です。

- 通常のステレオ音声に加えドルビーデジタル（5.1ch）や DTS などの迫力ある音響効果を楽しめます。
  - ・ドルビーデジタル /AAC/DTS デジタルサラウンドプロセッサーまたはドルビーデジタル /AAC/DTS デジタルサラウンドデコーダー内蔵アンプと本機を光デジタル接続することにより、大迫力の臨場感あふれるサラウンド音声を楽しむことができます。
  - ・DTS 音声を楽しむには、DTS デジタルサラウンドデコード機能搭載のプロセッサーまたはアンプが必要です。
  - ・DTS デジタルサラウンド音声を楽しむときは、DVD 再生時にディスクメニューで DTS 音声を選ぶか、リモコンの 音声 で DTS 音声を選んでください。音声の選びかたについては、**38** ページをご覧ください。
  - ・DTS デジタルサラウンドデコード機能搭載の機器と接続したときは、「音声出力設定」（**53** ページ）で「ビットストリーム」に設定します。
- オーディオ機器側の接続について詳しくは、オーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。

接続後は、音声出力設定を行ってください。（53ページ）

ご注意

- ・光デジタルケーブル（市販品）は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
- ・市販の光デジタルケーブルを使ってオーディオ機器と接続したときは「音声出力設定」（**53** ページ）の各項目の設定をしてください。
- ・光デジタルケーブル（市販品）を使用する場合は、5.1ch 音声を出力することができます。7.1ch 音声を出力するには、HDMI ケーブル（19 ピン／付属品）をご使用ください。（→ **47** ページ）

お知らせ

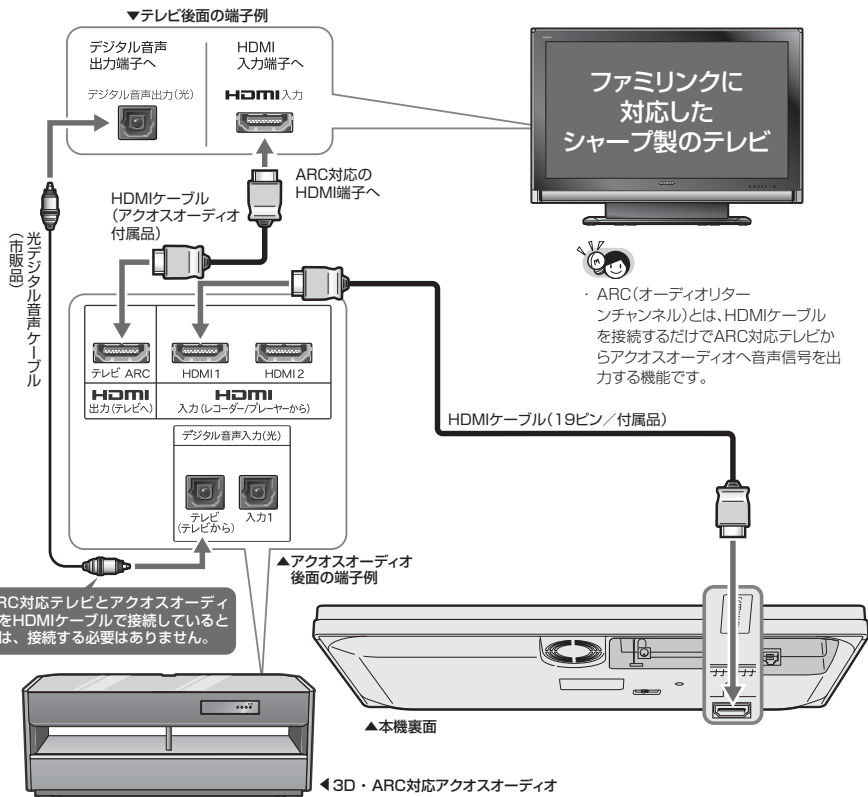
デジタル音声出力について

- ・二ヶ国語放送や二ヶ国語放送を録画した番組の再生では、音声の切り換えはできません。（プロセッサーまたはアンプに音声切換機能があるときは、オーディオ機器側で切り換えてください。）
- ・音楽用 CD を再生したとき、音声の切り換えはできません。
- ・光デジタル音声出力端子はデジタル音声を MD などに複製できません。
- ・デジタル音声出力形式（PCM またはビットストリーム）の詳細については、**53** ページの「音声出力設定と出力される音声について」をご覧ください。

アクオスオーディオと接続する

重要

- 安全のため本機・テレビ・接続する機器の電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
- ケーブル類は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
- 接続する機器側の接続については、接続する機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- アクオスオーディオ側の接続については、アクオスオーディオに付属の取扱説明書をご覧ください。

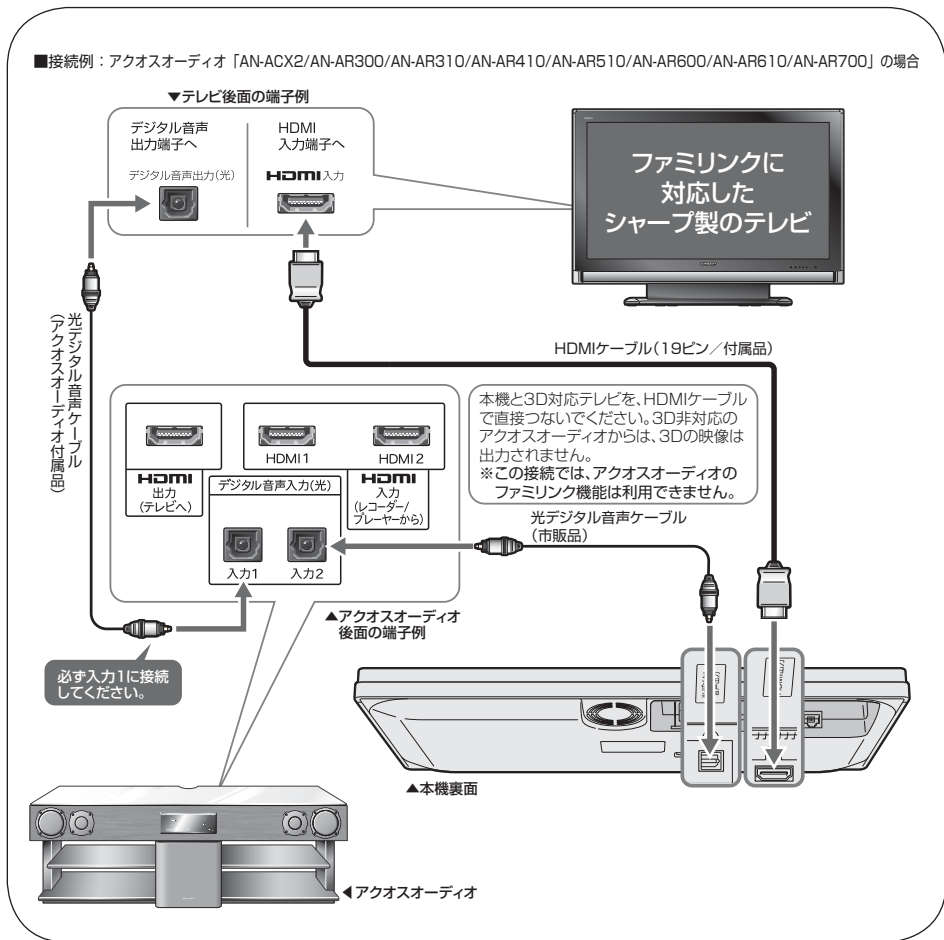
本機と 3D 対応テレビ、3D 対応のアクオスオーディオを接続する場合
本機と 3D 非対応テレビ、アクオスオーディオ（3D 対応／非対応）を接続する場合

ファミリンクの設定については**59**～**60**ページ

次ページへつづく ▶▶▶

重要

- 安全のため本機・テレビ・接続する機器の電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
- ケーブル類は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
- 接続する機器側の接続については、接続する機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- アクオスオーディオ側の接続については、アクオスオーディオに付属の取扱説明書をご覧ください。

本機と 3D 対応テレビ、3D 非対応のアクオスオーディオを接続する場合

■接続例：アクオスオーディオ「AN-ACX2/AN-AR300/AN-AR310/AN-AR410/AN-AR510/AN-AR600/AN-AR610/AN-AR700」の場合

ファミリンクの設定については**59**〜**60**ページ

BD-LIVE を楽しむための接続をする

- BD-LIVE 対応の BD-ROM ディスクには、インターネット経由（LAN 経由）で追加の映像や字幕、通信対応のゲームなどができるものがあります。
  この場合、LAN※接続と LAN の設定（→ **62** ページ）が必要となります。（プロバイダとの契約も必要です。また、サービス内容の詳しい情報は、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。）
- 下記の接続機器などが必要です。
  ※ LAN（Local Area Network）

LAN 接続のしかた

（ADSL での接続の一例です）
- 回線業者やプロバイダにより、必要な機器や接続方法が異なります。
- 本機は公衆 LAN への接続には対応しておりません。通信端末認定品の市販ルーターなどを用いて LAN 接続をしてください。

- ADSL など、ブロードバンドサービスの接続には専門知識が必要です。詳しくは、ADSL 事業者にお問い合わせください。

- LAN ケーブル以外（電話のモジュラーケーブルなど）を挿入しないでください。故障の原因となることがあります。

BD-LIVE（BD ライブ）で楽しむために
- 市販の USB メモリーが必要です。
  USB2.0（2GB 以上）をご購入ください。

LAN ケーブルの種類について
- LAN ケーブルは、10BASE-T/100BASE-TX タイプのものをご使用ください。
  モデムやルーターなどの種類によって、使用する LAN ケーブルの種類が異なります。詳しくは、モデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。

無線 LAN 接続について
- 無線 LAN 機器の接続につきましては、動作検証されておりませんので、ご利用は推奨いたしておりません。

パソコン
- ルーターの設定などに必要です。

接続後は、LAN 設定（BD-LIVE）（→ **62** ページ）を必ず行ってください。

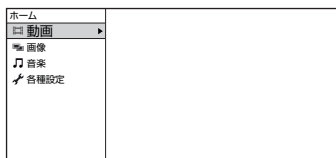
各種設定の基本操作

「各種設定」では、本機をより活用していただくための設定ができます。

1 テレビと本機の準備をします 18~19ページ

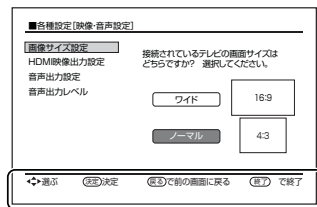
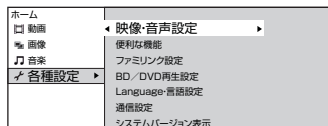
① テレビの電源を入れます。
② 本機の電源を入れます。
③ テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えます。

2 ホーム画面を表示させます

3 「各種設定」を選んで決定します

・ ▷を押しても決定できます。

4 設定したい項目を選んで決定します

・ ▷を押しても決定できます。

（映像・音声設定の場合）

5 画面下のガイド表示にしたがって設定を進めます

例）「音声出力レベル」を「シフト」に設定する場合の操作例

① 「音声出力レベル」を選んで決定します

② 「シフト」を選んで決定します

6 設定を終了します

「各種設定」で設定できる項目

ホーム	
動画	◀ 映像･音声設定 ▶
画像	便利な機能
音楽	ファミリンク設定
各種設定 ▶	BD／DVD再生設定
	Language･言語設定
	通信設定
	システムバージョン表示
	USBメモリー管理
	ソフトウェアの更新
	システム

☆の付いたものは、工場出荷時の設定／設定リセットをした後の設定です。

映像・音声設定

画面サイズ設定

テレビを買い換えたときなど、接続するテレビの画面サイズが変わったときは、「画面サイズ設定」の変更が必要です。
接続するテレビの画面サイズ（横縦比）、映像出力を設定します。

設定項目	設定内容
16：9（ワイド）☆	16：9 画面サイズのテレビと接続するときに設定します。
4：3（ノーマル）	4：3 画面サイズのテレビと接続するときに設定します。

「4：3（ノーマル）」選択時に表示

設定項目	設定内容
レターボックス☆	画面サイズが 4：3 のテレビと接続して 16：9 映像を再生するとき、16：9 の比率を保ったまま上下に黒い帯を入れて再生します。
パンスキャン	画面サイズが 4：3 のテレビと接続して 16：9 映像を再生するとき、映像の左右をカットして 4：3 のサイズで再生します。（4：3PS 指定の表示がある DVD ビデオで動作する機能です。）

HDMI 映像出力設定

付属の HDMI ケーブル（19 ピン）を使って本機とテレビを接続したときの設定です。本機の HDMI 端子から出力される映像の解像度を設定します。
通常は「オート」に設定してください。

設定項目	設定内容
オート☆※	通常は「オート」に設定します。
1080p	1080p の映像を出力します。
1080i	1080i の映像を出力します。
720p	720p の映像を出力します。
480p	480p の映像を出力します。

※ 1080p 24Hz 対応のテレビと接続しているときは、「オート」に設定してください。

※ BD ビデオの 1080p 24Hz 映像を再生している場合

音声出力設定

サラウンド対応のオーディオ機器と接続したときの設定をします。BD ビデオ付加音声※1を有効にしたいときは、PCM またはビットストリーム（ミックス）に設定します。

設定項目	設定内容
PCM	• マルチチャンネル PCM 対応の HDMI 機器と本機を接続しているときに選択します。 • ドルビーデジタル、DTS、AAC などの各種音声方式で記録された音声をデコードし、PCM で出力します。 • BD ビデオ付加音声※1を有効にしたいときに選択します。
ビットストリーム（ミックス）	• BD ビデオ付加音声※1を有効にしたいときに選択します。
ビットストリーム	• ドルビーデジタルなどのデコーダーを内蔵した HDMI 機器またはサラウンド機器と本機を接続しているときに選択します。 • 接続されている機器に適した音声方式で音声を出力します。

・音声が出ない、ノイズ音が出るようなときは、音声出力設定が正しいかご確認ください。
・Dolby Digital 音声や DTS 音声に対応できない機器と接続したときは、PCM 音声で出力されます。

音声出力設定と出力される音声について

設定項目	設定内容	出力端子	オーディオストリーム						
			PCM	Dolby Digital	Dolby Digital Plus	Dolby TruePHD	DTS	DTS-HD HR	DTS-HD MA
PCM	メインの音声と BD ビデオ付加音声※1をデコードし、PCM で出力します。	HDMI 出力	PCM	PCM	PCM	PCM	PCM	PCM 7.1ch	PCM 7.1ch
		光デジタル音声出力	PCM 2ch	PCM 2ch	PCM 2ch	PCM 2ch	PCM	PCM 2ch	PCM 2ch
ビットストリーム（ミックス）	メインの音声と BD ビデオ付加音声※1をデコードし、DTSストリームに変換して出力します。	HDMI 出力 / 光デジタル音声出力	DTS/ PCM	DTS/ Dolby Digital	DTS	DTS	DTS	DTS 5.1ch	DTS 5.1ch
ビットストリーム	ご使用の音声機器でオーディオビットストリームをデコードできるようにメインの音声（映像のメインサウンドトラック）のみを出力します。BD ビデオ付加音声※1は出力されません。	HDMI 出力	PCM	Dolby Digital	Dolby Digital Plus	Dolby TrueHD	DTS	DTS-HD HR	DTS-HD MA
		光デジタル音声出力	PCM 2ch	Dolby Digital	Dolby Digital	Dolby Digital	DTS	DTS-ES 5.1ch	DTS-ES 5.1ch

※1 BD ビデオ付加音声：PinP の音声やメニューのクリック音などの効果音

・本機の光デジタル音声出力端子から出力される音声は複製ができません。
・「音声出力設定」で「ビットストリーム（ミックス）」に設定すると、ブルーレイディスクに記録されているドルビーデジタルや PCM 音声は DTS ストリームとして出力されます。

次ページへつづく ▶▶▶

音声出力レベル

音の強弱の幅（ダイナミックレンジ）を調整し、平均的な音量で再生します。セリフが聞きづらいときに調整します。

設定項目	設定内容
ノーマル☆	記録されている音声をそのまま出力します。
シフト※	ドルビーデジタル音声を再生したとき、ダイナミックレンジを調整し、セリフ部分を聞こえやすいように調整します。（音声が正常に聞こえないときはノーマルにしてください。）
オート	自動で音声を選択し、出力します。

※設定する際は、テレビやアンプの音量を下げてください。大きな音が出たり、スピーカーに過大な入力が入る場合があります。

便利な機能

無操作オフ設定

再生を止めた状態で操作をしない状態が約 10 分続くと、自動的に電源が切れるように設定できます。

設定項目	設定内容
する	操作をしない状態が約 10 分続くと、自動的に電源を切ります。
しない☆	操作をしない状態が続いても、自動的に電源を切りません。

・ 無操作オフ機能は、再生を行っているときは働きません。

本体表示

本体のランプを点灯させるか消灯させるかの設定をします。

設定項目	設定内容
点灯	電源が入っているときに本体前面のランプを点灯させます。
消灯	本体前面のランプ※は消灯します。

※ 電源ランプは消灯しません。

操作パネル設定

ファミリンク対応のシャープ製液晶テレビアクオスと接続したときにテレビのリモコンで本機の操作が行える操作パネルを表示させる設定をします。

設定項目	設定内容
する	操作パネルを表示します。
しない	操作パネルを表示しません。

スクリーンセーバー

静止画などをテレビ画面に表示して起こる残像現象（画像の焼きつき）を防ぐために、スクリーンセーバーを設定できます。「切」、「5 分」、「10 分」、「20 分」、「30 分」から選択し設定します。

ファミリンク設定

HDMI ケーブルで接続したシャープ製のファミリンク対応液晶テレビ「アクオス」から操作できるようにするかしないかを設定します。

設定項目	設定内容
する☆	HDMI ケーブルで接続した機器から操作できるようにします。
しない	HDMI ケーブルで接続した機器から操作できないようにします。

・ シャープ製のファミリンク対応液晶テレビ「アクオス」が必要です。（ファミリンク機能を「HDMI コントロール機能」と表記しているテレビもあります。）

BD/DVD 再生設定

視聴制限レベル

ディスクの内容により、視聴制限を設定できます。設定方法については **56** ページをご覧ください。

BD/DVD ビデオ視聴制限レベル

BD/DVD ビデオの視聴制限が設定できます。視聴制限は、「暗証番号」を設定した場合のみ設定できます。

設定項目	設定内容
1	子供向けディスクを再生できます。成人指定ディスクと一般向けディスク（R 指定含む）は再生できません。
2～3	一般向けディスク（R 指定を除く）と子供向けディスクを再生できます。成人指定ディスクと一般向け制限付き（R）指定ディスクは再生できません。
4～7	一般向けディスク（R 指定を含む）と子供向けディスクを再生できます。成人指定ディスクは再生できません。
8	すべてのディスクを制限無しで再生できます。
切☆	視聴制限を「切」にします。

BD ビデオ／ DVD ビデオ国コード

- BD ビデオや DVD ビデオの国コードを選びます。

設定項目	設定内容
(国コード)	国コードを選びます。

ディスク優先言語

画面に表示するメニューや、音声の言語を選択できます。
設定方法については **57** ページをご覧ください。

字幕言語

設定項目	設定内容
日本語☆	字幕言語を選びます。

音声言語

設定項目	設定内容
英語☆	音声言語を選びます。

メニュー言語

設定項目	設定内容
日本語☆	メニュー言語を選びます。

- 画面に表示されるメニューや音声の言語はディスクによって異なります。上記の設定を行っても、ディスクによっては自動的に言語が切り換わったり、字幕の表示／非表示や切り換えを禁止している場合があります。また、ディスクメニューを使って選ぶ場合があります。

アングルマーク表示

DVD ビデオのタイトルで、マルチアングルで録画されたシーンを再生中に、アングルマーク「🎥」を画面に表示します。

設定項目	設定内容
する	アングルマークを表示します。
しない☆	アングルマークを表示しません。

暗証番号設定

本機は視聴制限や BD-LIVE 設定を行うときに、暗証番号を使います。
設定方法については、**58** ページをご覧ください。

BD-LIVE 設定

- BD-LIVE 対応の BD-ROM ディスクには、インターネット経由（LAN 経由）で追加の映像や字幕、通信対応のゲームなどができるものがあります。
  BD-LIVE 設定で、インターネットへの接続の許可や禁止の設定ができます。
- BD-LIVE 設定は、「暗証番号」を設定した場合のみ設定できます。

設定項目	設定内容
許可する	すべてのディスクを許可します。
条件付許可☆	不正に作られたディスクなど、BD-LIVE 番組制作者の証明書が含まれていないディスクのインターネットへの接続を制限します。
禁止する	すべてのディスクを禁止します。

3D 切換設定

- ブルーレイ 3D™ を、3D または 2D のどちらで再生するか、設定できます。
- この設定は、「HDMI 映像出力設定」（→ **53** ページ）を「オート」にした場合に設定できます。

設定項目	設定内容
オート☆	3D 映像で視聴するときに選択します。
2D	2D 映像で視聴するときに選択します。

3D 通知設定

ブルーレイ 3D™ の再生時に、再生に関する注意文を表示させるか表示させないかを設定します。

設定項目	設定内容
する☆	再生時にブルーレイ 3D™ の注意文を表示します。
しない	再生時にブルーレイ 3D™ の注意文を表示しません。

- 「する」を選ぶと、ブルーレイ 3D™ の再生時に注意文が表示されます。

Language・言語設定

ホーム画面などの言語を変更したいとき、英語と日本語を切り換えることができます。

通信設定

設定について詳しくは **62** ページをご覧ください。

システムバージョン表示

本機のシステムのソフトウェアバージョンを表示します。

USB メモリー管理

- BD-LIVE（BD ライブ）や BD ビデオで個別に設定したブックマークやゲームのスコアなどを消去することができます。
- 設定について詳しくは **64** ページをご覧ください。

ソフトウェアの更新

- 設定について詳しくは **65** ページをご覧ください。

システム

設定リセット

本機に保存している設定情報を初期状態（工場出荷時の状態）に戻します。

設定項目	設定内容
リセットする	リセットして、本機に保存している設定情報を、初期状態に戻します。
リセットしない☆	リセットしません。

- 暗証番号の設定もリセットされます。
- 設定リセットを行うと、自動的に電源は「切」となります。
- LAN 設定もリセットされます。

確認 準備 基本 再生 接続 各種設定 参考

視聴制限やディスク優先言語を設定する

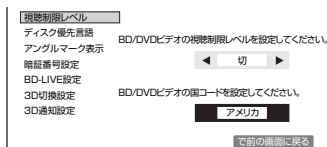
DVD ビデオや BD ビデオの視聴制限と、ディスク優先言語を設定します。

視聴制限を設定する

1 「ホーム」ー「各種設定」ー「BD/DVD 再生設定」を選んで決定します

2 「視聴制限レベル」を選んで決定します

3 暗証番号 58 ページ を入力します

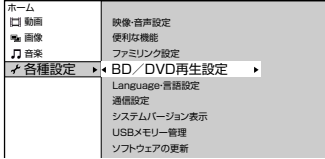
4 BD/DVD ビデオの視聴制限レベルを設定します

・視聴制限レベルについては **54** ページをご覧ください。

5 国コードを設定します

6 設定を終了します

終了 押す

ディスク優先言語を設定する

1 「ホーム」ー「各種設定」ー「BD/DVD 再生設定」を選んで決定します

2 「ディスク優先言語」を選んで決定します

3 字幕言語を設定します

4 音声言語を設定します

5 メニュー言語を設定します

6 設定を終了します

暗証番号を設定する

視聴制限のための暗証番号を設定します。

1 テレビと本機の準備をします 18~19ページ

① テレビの電源を入れます。
② 本機の電源を入れます。
③ テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えます。

2 ホーム画面を表示させます

3 「各種設定」を選んで決定します

・ を押しても決定できます。

4 「BD/DVD 再生設定」を選んで決定し、「暗証番号設定」を選んで決定します

5 数字ボタンで４桁の暗証番号を入力します

6 「する」を選んで決定します

7 確認のためもう一度入力します

8 「確認」で決定します

⇨ 暗証番号を設定します

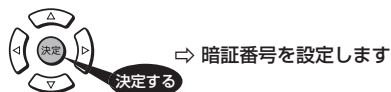
9 設定を終了します

・暗証番号は忘れないように必ずメモしてください。

暗証番号を忘れたときは

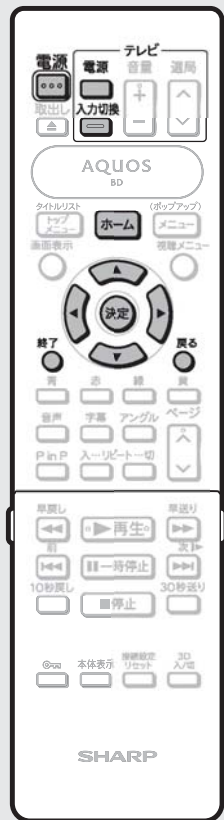
・「各種設定」－「システム」－「設定リセット」を行うと暗証番号設定がリセットされます。暗証番号を設定し直してください。

次の設定をするときに、暗証番号が必要となります。

・視聴制限レベル
・BD-LIVE 設定
・ソフトウェアの更新

ファミリンクのための設定をする

- 本機の再生などの操作にあわせてテレビの電源を入れたり、テレビの画面を本機の画面に切り換えたりするなどの連動操作が行える「ファミリンク」を楽しむための設定をします。
- 設定の説明では、ファミリンク対応のテレビを「テレビ」と表現しています。
- テレビの設定は、「LC-42GX3W」を例に説明しています。
  製品により設定が異なります。テレビの設定について詳しくは、テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- テレビ側の設定は、本機に付属のリモコンではできません。テレビに付属のリモコンで行ってください。
- 本機側の設定（60 ページ）は、本機に付属のリモコンで行ってください。

テレビ側の設定をする（連動起動設定）

- 本機の操作に連動してテレビの入力を自動で切り換えるための設定です。
- 設定は、テレビに付属のリモコンをテレビに向けて行ってください。

1 テレビと本機の準備をします 18~19ページ

① テレビの電源を入れます。
② 本機の電源を入れます。
③ テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えます。

2 テレビのメニューを表示します

3 「機能切換」－「ファミリンク設定」を選んで決定します

- テレビの種類によっては「HDMI コントロール設定」と表示されます。

選んだ項目は黄色で表示されます。

4 「連動起動設定」を選んで決定します

5 「する」を選んで決定します

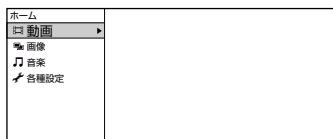
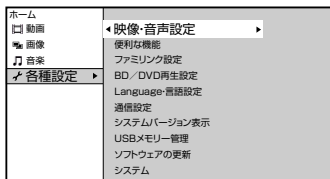
次ページへつづく ▶▶▶

本機側の設定をする（連動設定）

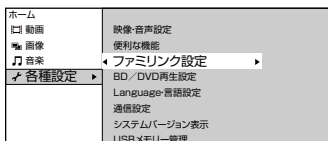
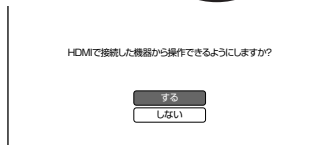
- テレビ側の設定をしたら、続いて本機側の設定をします。
- 設定は、本機に付属のリモコンを本機に向けて行ってください。

1 テレビと本機の準備をします 18~19ページ

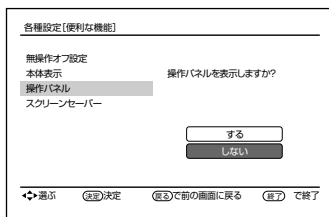
① テレビの電源を入れます。
② 本機の電源を入れます。
③ テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えます。

2 本機のホーム画面を表示します

3 「各種設定」を選んで決定します

- ▷を押しても決定できます。

4 「ファミリンク設定」を選んで決定します

- ▷を押しても決定できます。

5 「する」を選んで決定します

6 設定を終了します

操作パネルの設定をする

1 「ホーム」ー「各種設定」ー「便利な機能」の「操作パネル」を選んで決定します

2 「する」を選んで決定します

- 表示させたくないときは「しない」を選んで決定します。

3 設定を終了します

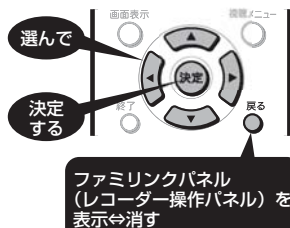
テレビのリモコンで本機の再生操作をする

- テレビの入力を本機を接続した入力に切り換えると、テレビのリモコンでプレイヤーの再生操作が行えるファミリンクパネル（プレーヤー操作パネル）を表示させることができます。「ホーム」ー「各種設定」ー「便利な機能」ー「操作パネル」で「する」に設定してください。（→**60**ページ）

■ファミリンクパネル画面

1 テレビの入力を本機を接続した入力に切り換えます

2 テレビのリモコンの「戻る」ボタンを押します

- 本機の再生操作を行うファミリンクパネル（プレーヤー操作パネル）が表示されます。プレーヤーのリモコンと同じ再生操作が行えます。
- 表示を消したいときは、テレビのリモコンの「戻る」ボタンを押します。押すたびに、表示↔消すと切り換わります。

- ファミリンクパネル（プレーヤー操作パネル）の位置を変更したいときはテレビのリモコンの「青」ボタンを押します。
- テレビのリモコンで再生操作をしたときは、テレビ画面にファミリンクパネル（プレーヤー操作パネル）が表示されます。（何も操作をしない状態が10秒を過ぎると、ファミリンクパネル（プレーヤー操作パネル）は自動的に消えます。）
- ファミリンクⅡに対応したテレビの場合は、プレーヤーのファミリンクパネル（操作パネル）は表示されません。テレビ自体のファミリンクパネルが表示されます。
- テレビのファミリンクパネルを表示させたとき、本機で操作できないボタン（コマ戻しボタンなど）が表示される場合があります。
  操作できるボタンは、本機で操作可能なボタンのみです。

お知らせ

次の場合、ファミリンクパネル（プレーヤー操作パネル）は表示されません。
- プレーヤーのリモコンで再生操作したとき
- ホーム画面や、視聴メニューなど、「戻る」ボタンの操作が行える画面を表示させているとき

■ファミリンクパネルのボタンアイコン

ポップアップメニュー	BDまたはDVDのポップアップメニュー画面で表示します。
トップメニュー タイトルリスト	BD または DVD のトップメニュー画面を表示します。
視聴メニュー	BD または DVD の視聴メニューを表示します。
早戻し	早戻しをします。
再生	再生をします。
早送り	早送りをします。
前	チャプターの先頭へ移動します。
一時停止	一時停止をします。
次	次のチャプターへ移動します。
10秒 戻し	少し前（10秒）に戻ります。
停止	停止します。
30秒 送り	少し先（30秒）に飛びます。
表示 切	ファミリンクパネルを終了します。

BD-LIVE を楽しむための設定をする

LAN 設定を行う

- インターネットに接続して BD-LIVE の機能を利用する場合に必要な設定です。
- DHCP サーバー機能のない（使用していない）モデムまたはルーターをお使いの場合は、本機の情報を入力します。設定の前に、次の情報がそろっているか、ご確認ください。確認後、メモ欄にメモしておくことをおすすめします。

	メ モ 欄
IP アドレス	
ネットマスク	
ゲートウェイ	
DNS のアドレス	プライマリ
	セカンダリ

- プロバイダと LAN 接続の契約をしていない場合は、BD-LIVE の機能が楽しめません。

1 テレビと本機の準備をします
18~19ページ

① テレビの電源を入れます。
② 本機の電源を入れます。
③ テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えます。

2 ホーム画面を表示させます

3 「各種設定」を選んで決定します

- を押しても決定できます。

4 「通信設定」を選んで決定します

5 「LAN 設定」を選んで決定します

■各種設定［通信設定ーLAN設定］

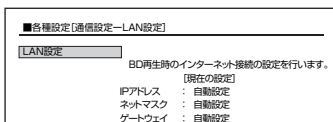
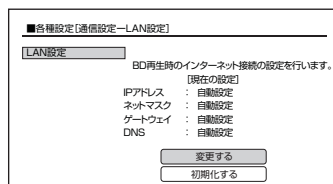
LAN設定

BD再生時のインターネット接続の設定を行います。
［現在の設定］
IPアドレス　：自動設定
ネットマスク　：自動設定
ゲートウェイ　：自動設定

6 「変更する」を選んで決定します

■各種設定［通信設定ーLAN設定］

LAN設定

BD再生時のインターネット接続の設定を行います。
［現在の設定］
IPアドレス　：自動設定
ネットマスク　：自動設定
ゲートウェイ　：自動設定
DNS　：自動設定

変更する
初期化する

■ IP アドレスを設定する

7 「する」または「しない」を選んで決定します

「する」
- IP アドレスを自動で取得します。（モデムまたはルーターの DHCP サーバー機能を利用します。）

「しない」
- 「IP アドレス」、「ネットマスク」、「ゲートウェイ」を、文字入力画面または数字ボタンを使って入力します。それぞれの欄の設定値は、ブロードバンドルーターの仕様を確認してください。

8 「次へ」で決定します

- 手順で 7 で「する」を選んだ場合は、手順 11 に進みます。

■ DNS のアドレスを設定する

9 DNS のアドレスを入力します

- 「プライマリ」と「セカンダリ」のアドレスを、文字入力画面または数字ボタンを使って入力します。それぞれの欄の設定値は、ブロードバンドルーターの仕様を確認してください。

10 「次へ」で決定します

■ LAN に接続するためのテストをする

11 設定内容を確認し、「テスト実行」を選んで決定します

- テスト実行は、IP アドレスを自動で取得する設定のときのみです。IP アドレスを自動で取得しない場合は、「テスト実行」は選べません。

- 設定した内容はメモしておくことをおすすめします。
- LAN 設定したが通信エラーとなるときは、一度電源を切り、LAN ケーブルの接続を確認し、再度電源を入れ手順 2 から設定し直してください。

12 設定を終了します

■ LAN 設定の内容を確認（再設定）する

1 テレビと本機の準備をします ☞ 18~19ページ

① テレビの電源を入れます。
② 本機の電源を入れます。
③ テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えます。

2 ホーム画面から「各種設定」を選びます ☞ 62 ページ

3 「通信設定」を選んで決定します

4 「LAN 設定」を選んで決定します

- 「初期化する」を選んで決定すると、LAN 設定の内容が工場出荷時の状態に戻ります。

5 62 ページ手順 5 ～ 63 ページ手順 11 を行い、再設定します

USB メモリーのデータを消去する

BD-LIVEからダウンロードしたデータは、USBメモリーに保存されています。保存されたデータは、次の手順で消去することができます。

重要

- USBメモリーを取り付けたり外したりする場合は、本機の電源を必ず切ってください。
- データの消去中は、USBメモリーを取り外さないでください。
- データの消去中は、電源プラグを抜かないでください。

1 本体前面の外部メモリー端子に、USB メモリーを取り付けます

2 テレビと本機の準備をします 18~19ページ

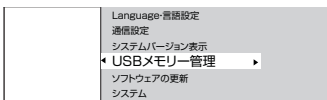
① テレビの電源を入れます。
② 本機の電源を入れます。
③ テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えます。

3 ホーム画面を表示させます

4 「各種設定」を選んで決定します

- ▷を押しても決定できます。

5 「USB メモリー管理」を選んで決定します

- ▷を押しても決定できます。

6 「消去する」で決定します

「消去する」　保存されているデータのうち、BDビデオのデータのみを消去します。

7 「する」または「しない」を選んで決定します

- 消去が始まります。

8 「確認」で決定します

9 設定を終了します

ソフトウェアを更新する

- 本機のソフトウェアの更新が必要となったときは、シャープホームページ内のサポートステーションでご連絡いたします。
  【シャープサポートステーション⇒ http://www.sharp.co.jp/support/】
- 必要なソフトウェアをダウンロードしてUSBメモリーに書き込んでおくと、本機の外部メモリー端子からソフトウェアの更新が行えます。また、インターネット経由でソフトウェアの更新ができます。

重要
- USBメモリーを取り付ける場合は、本機の電源を必ず切ってください。
- データの更新中は、USBメモリーを取り外さないでください。
- データの更新中は、電源プラグを抜かないでください。

■ USBメモリーを使用してソフトウェアを更新する

お知らせ
- USBメモリーにはアップデートファイル以外置かないでください。
- アップデートファイルは、ルートディレクトリに直接置いてフォルダを作らないでください。
- USBメモリーをPCで初期化するときは、下記の設定で行なってください。
  ファイルシステム：FAT32
  データ空容量　　：デフォルト値

1 本体前面の外部メモリー端子に、更新用ソフトウェアを書きこんだUSBメモリーを取り付けます

2 テレビと本機の準備をします 18~19ページ

① テレビの電源を入れます。
② 本機の電源を入れます。
③ テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えます。
- ディスクが入っているときは取り出してください。
- 手順 9 の③の画面が自動的に表示されます。
- 手順 9 の③で「開始しない」を選んだときは手順 3 からの操作を行ってください。

3 ホーム画面を表示させます

4 「各種設定」を選んで決定します

- ▷を押しても決定できます。

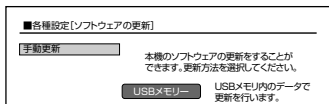
5 「ソフトウェアの更新」を選んで決定します

- ▷を押しても決定できます。

システムバージョン表示
USBメモリー管理
ソフトウェアの更新
システム

6 「手動更新」を選んで決定します

次ページへつづく ▶▶▶

7 「USB メモリー」を選んで決定します

8 暗証番号を設定しているときは 暗証番号を入力します

- 数字ボタン ① ～ ⓪ で、設定した暗証番号を入力します。

9 「確認」で決定します

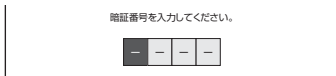
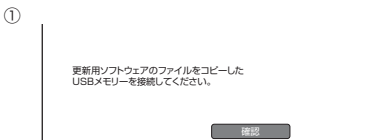
①

更新用ソフトウェアのファイルをコピーした
USBメモリーを接続してください。

確認

②

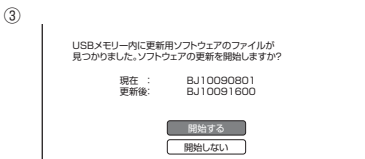
USBメモリーを確認しています。

確認

- 本機のソフトウェアの現在のバージョンとUSB メモリーに入っている更新データのバージョンとが表示されます。更新データで本機のソフトウェアを更新するには、「開始する」を選んで決定します。

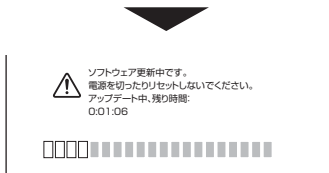
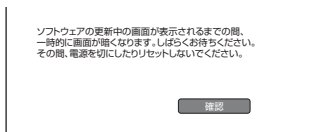
③

USBメモリー内に更新用ソフトウェアのファイルが
見つかりました。ソフトウェアの更新を開始しますか?

現在　:　BJ10090801
更新後:　BJ10091600

開始する
開始しない

- USB メモリーが正しく取り付けられていないときや、正しい更新データがUSB メモリーの中にみつからないときは、エラーメッセージが表示されます。USB メモリーのデータを確認し、USB メモリーを正しく接続し直してください。

10 「確認」で決定します

- ソフトウェアの更新が始まります。終了するまでは、電源プラグをコンセントから抜かないでください。

- ソフトウェアの更新に失敗した場合は、USB メモリーのデータを確認し、もう一度ソフトウェアの更新を行ってください。

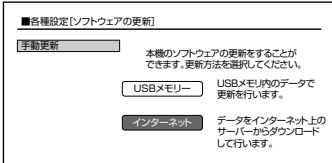
11 USB メモリーを本機から取り外します

12 本機の電源を「切」にします

■ インターネットでソフトウェアを更新する

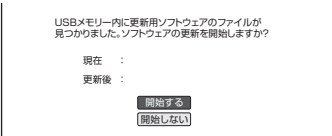
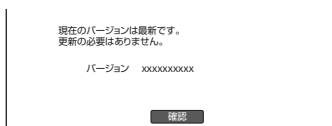
1 65 ページの手順 3 ～ 6 を行います

2 「インターネット」を選んで決定します

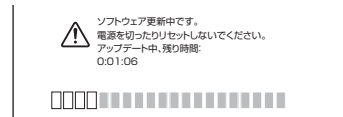
■各種設定［ソフトウェアの更新］
手動更新
本機のソフトウェアの更新をすることができます。更新方法を選択してください。
USBメモリー　USBメモリ内のデータで更新を行います。
インターネット　データをインターネット上のサーバーからダウンロードして行います。

3 暗証番号を設定しているときは 暗証番号を入力します

・数字ボタン ① ～ ⓪ で、設定した暗証番号を入力します。

4 インターネットに接続し、最新の更新用ソフトウェアを検索しているときは「接続」が点滅します

・本機のソフトウェアの現在のバージョンと最新の更新データのバージョンとが表示されます。更新データで本機のソフトウェアを更新するには、「開始する」を選んで決定します。

・最新のデーターが更新されているときはメッセージが表示されます。

・インターネット接続に失敗した場合は、インターネット接続（→ **51** ページ）と LAN 設定（→ **62** ページ）を確認してください。

5 「確認」で決定します

・ソフトウェアの更新が始まります。終了するまでは、電源プラグをコンセントから抜かないでください。

・ソフトウェアの更新に失敗した場合は、手順 1 から操作をし直し、もう一度ソフトウェアの更新を行ってください。

6 本機の電源を「切」にします

確認 準備 基本 再生 接続 各種設定 参考

こんなときは

この章では、再生できないときなど、困ったときに確認していただきたいことを説明しています。

本機で使えるディスクについて

故障かなと思ったら

よくあるお問合せ

保障とアフターサービス

お客さまご相談窓口のご案内

仕様

登録商標

用語の解説

さくいん

本機で使えるディスクについて

本機で再生できるディスク

・本機で再生できるディスクは下記の通りです。それ以外のディスクは再生できません。

ディスクの種類	再生できる条件	ディスクの大きさ	録画方式（フォーマット）	再生できる内容
Blu-ray Disc BD-Video BDビデオ	リージョンコード Ⓐ または、「All Region（オールリージョン）」（Ⓐ を含む）のディスク	12cm盤	BDMVフォーマット	音声+映像（動画）
BD-RE※2	Ver. 2.1、SL（1層）／DL（2層）		BDAVフォーマット※1	
BD-R※2	Ver. 1.1、SL（1層）／DL（2層） Ver. 1.2、SL（1層）／DL（2層） Ver. 1.2、LTH TYPE Ver. 1.3※2 Ver. 1.3 LTH TYPE			
DVD VIDEO DVDビデオ	リージョンコード ALL または 2 の含まれるディスク	12cm盤 8cm盤	ビデオフォーマット	音声+映像（動画）
DVD-RW、DVD-R、DVD-R DL		12cm盤 8cm盤	VRフォーマット ビデオフォーマット AVCHDフォーマット※3 （ファイナライズ済みディスク）	音声+映像（動画）
			JPEGファイル	映像
DVD+RW, DVD+R, DVD+R DL		12cm盤 8cm盤	ビデオフォーマット※3 （ファイナライズ済みディスク）	音声+映像（動画）
COMPACT disc DIGITAL AUDIO 音楽用CD		12cm盤 8cm盤	音楽用CDフォーマット	音声
CD-R、CD-RW		12cm盤 8cm盤	音楽用CDフォーマット MP3ファイルフォーマット	音声
			JPEGファイル	映像

※1　当社のBDレコーダーで記録した長時間（H.264記録）ディスクも再生可能です。
※2　BD-RE XL、BD-R XLディスクは再生できません。
※3　再生できるディスクは、ビデオカメラで撮影したディスクです。パソコンなどで作成したディスクは再生できない場合があります。

次ページへつづく ▶▶▶

本機で再生できないディスク

・本機で再生できるディスクでも、次のような場合はまったく再生できないか、正常な再生ができないことがあります。

ディスク	内容
BD ビデオ	・リージョンコード「A」、「A」を含むもの、「All Region（オールリージョン）」以外のディスク（正式な販売地域以外のディスク）リージョンコードの記載がないディスク。（NTSC 方式のディスクであれば再生できることもあります。） ・PAL 方式、SECAM 方式のディスク
BD-RE BD-R	・BD-RE Ver.1.0 は本機で再生できません。 ・カートリッジタイプのディスクは再生できません。
BD-RE XL BD-R XL	・BD-RE XL、BD-R XL ディスクは本機で再生ができません。
DVD ビデオ	・リージョンコード「ALL」、「2」が含まれていないディスク（正式な販売地域以外のディスク） ・PAL 方式、SECAM 方式のディスク（海外で製造されたディスク） ・無許諾のディスク（海賊版のディスク） ・業務用のディスク
DVD-RW DVD+RW DVD-R DVD+R	・データが記録されていないディスク ・記録に使用したレコーダーまたは PC によっては、再生できません。 ・ファイナライズされていないディスク **次のディスクは再生できない場合があります。** ・DVD-R（VR フォーマット）ディスク ・DVD-R DL（2 層）ディスク ・DVD+R DL（2 層）ディスク
CD-R CD-RW	・データが記録されていないディスク ・ファイナライズされていないディスク ・音楽 CD フォーマット、MP3 または JPEG 以外のフォーマットで記録されたディスクや、音楽や映画などと静止画（JPEG ファイル）が混在したディスクは、再生できない場合があります。 ・ディスクの記録状態／ディスク自体の状態によっては、再生できません。 ・ディスクと本機の相性、または記録に使用したレコーダーによっては再生できません。
音楽用 CD	・著作権保護を目的とした信号（コピーコントロール信号）の入った CD は再生できない場合があります。 ・DTS 音声とリニア PCM 音声が混在しているディスクは再生できません。 **本製品は、CD（コンパクトディスク）規格に準拠した音楽用 CD の再生を前提として設計されています。**
ビデオ CD	・ビデオ CD は本機で再生できません。
DTS CD	・リニア PCM 音声のトラックが混在するなど、一部のディスクによっては、正常に再生できないことがあります。

DVD ディスクの再生について

・ファイナライズ処理が必要です。
・DVD-R DL（2 層）ディスクは、記録状態によっては再生できない場合があります。

本機で再生できないディスク

・次のディスクは、本機で再生はできません。再生できても正常に再生されないことがあります。誤って再生すると、大音量によってスピーカーを破損する原因となる場合がありますので、絶対に再生しないでください。

BD-RE Ver.1.0、BD-RE XL、BD-R XL、HD DVD、CDG※1、フォト CD、CD-ROM、CD-TEXT※1、CD-EXTRA※1、VCD、SVCD、SACD、PD、CDV、CVD、DVD-RAM、DVD-ROM、DVD オーディオ、その他、特殊な形のディスク（♡ハート型や⬡六角形のディスクなど）

※ 1 音声のみ再生できます。

故障かな？と思ったら

次のような現象は故障でない場合がありますので、修理をお申しつけになる前にお確かめください。
• 「よくあるお問い合わせ」（→ **76** ページ）も、あわせてご覧ください。

操作ができない

操作ボタンを受けつけない。

・リモコンの操作範囲内で使用してください。（→ **14** ページ）
・リモコンの「 （キーロック）」が設定されていないかご確認ください。（→ **14** ページ）
・キーロック設定されているときに操作したときは、本体のメディアサークルが青点滅表示となり、キーロック設定されている事をお知らせします。

操作の途中で画面が止まり、操作ボタンを受けつけない。

・一度電源を「切」にし、再度電源を入れ直してください。

リセットする

●電源が切れない、または症状が改善しない場合は、本体の電源ボタンを 5 秒以上押し続けてください。
電源ボタンを押し続けると「リセット」され電源が「切」になります。電源ボタンから手を離し、電源ランプが赤点灯してから再度電源を入れ直してください。（電源ランプが消灯しているときはリセット処理中ですので、点灯するまでお待ちください。）

・本体の電源ボタンを押し続けてリセットしても改善されない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、再度差し込んでください。

※状況が改善されない場合は、販売店またはお客様相談センター（→ **78** ページ）にご相談ください。

極端に寒い場所でお使いのとき。

・使用温度範囲内でお使いですか。（→ **79** ページ）

電源が入らない。

・電源プラグ（→ **18** ページ）をコンセントに正しく接続してください。それでも直らない場合は、本機をリセット（左記参照）してください。
・電源プラグがコンセントに差し込まれている場合は、いったん電源プラグを抜き、約 1 分後にもう一度電源プラグを差し込んでから、電源を「入」にしてください。
・電源ボタンは、電源ランプが赤点灯してから押してください。

勝手に電源が切れる。

・「無操作オフ設定」（→ **54** ページ）が「する」に設定されていませんか。「する」に設定されている場合、何も操作していない状態が約 10 分続くと自動的に電源が切れます。

映像が映らない

画面が映らない。

・接続が正しいか確認してください。（→ **46** ～ **47**、**49** ～ **50** ページ）
・テレビまたは AV アンプ側で、本機をつないだ入力端子を選択してください。
・HDCP に対応していない DVI 機器には映像が映らない場合があります。（本機の HDMI 出力端子は、HDMI 機器との接続を目的に設計されています。）
・電源プラグがコンセントから抜けていませんか。
・電源「切」の状態になっていませんか。

BDやDVDディスクの画面が映らない。

・BDやDVDディスクをクリーニングしてください。（→**12**ページ）

テレビの1chまたは2chで本機の映像が見られない。

・AV入力端子付きテレビでお楽しみください。

次ページへつづく ▶▶▶

映像が正常に映らない

横長の映像や縦長の映像になる / 画面の上下に黒い帯が出る。

・「画面サイズ設定」（→ **53** ページ）は、接続されているテレビに合っていますか。
・ワイドテレビの場合、「画面サイズ設定」（→ **53** ページ）が「16：9（ワイド）」に設定されていますか。

画面に四角のノイズ（モザイク）が出る。

・デジタル画像圧縮技術の特性上、動きの速い場面などでブロック状の画像が目立つことがあります。

映像が停止する。

・本機に衝撃や振動を与えませんでしたか。不安定な場所で使用していませんか。衝撃や振動を感知すると停止します。

HDMI 出力設定が正しいですか。

・リモコンの接続リセットボタンを 3 秒以上押し続けてください。HDMI 出力設定がオートに設定されます。（→ **14** ページ）

HDMI ケーブルでテレビと接続しているが映像が映らない、正常な映像が映らない。

・電源を入れた状態で HDMI ケーブルを抜き差ししていませんか。電源を入れた状態で HDMI ケーブルを抜き差しすると、映像が映らなくなったり、正しく映らない場合があります。

電源を入れた状態で誤って HDMI ケーブルを抜いたときは、電源を切ってから HDMI ケーブルを接続し直し、電源を入れてください。

音声

スピーカーから音が出ない、音が歪む。

・一時停止またはスロー再生 / 早送り / 早戻し中は、音声が出ません。
・接続プラグの差し込みかたが不十分、または外れていないか確認してください。
・テレビまたは AV アンプなどの音量が「MIN（最小）」になっている場合はボリュームを上げてください。
・接続プラグや端子が汚れていたら拭いてください。
・BD または DVD ディスクをクリーニングしてください。（→ **12** ページ）
・BD または DVD ディスクに記録されている音声に、オーディオ信号以外の音声や規格外の音声が記録されているなど音声の記録状態によっては、音声が出ない場合があります。

2 つの音が混ざって聞こえる。

・音声切換が間違っていませんか。リモコンの［音声］を押し、音声を切り換えます。（→ **38** ページ）

再生

つづき再生が働かない。

・ディスクのつづき再生は、ディスクを取り出すと働かなくなります。
・音楽用ＣＤはつづき再生が働きません。一時停止してください。
・市販の BD ビデオ、DVD ビデオ、ファイナライズされたビデオフォーマットの DVD-RW/-R ディスク、音楽用 CD は、ディスクを取り出す、電源を切る、などの操作を行うと、つづき再生されません。
・その他、ディスクや再生状態によっては、つづき再生が働かない場合があります。

市販の BD ビデオまたは DVD ビデオをセットしたが再生が自動的に始まらない。

・ディスクが自動再生に対応しているか確認してください。

BD や DVD ディスクが再生できない。

・BD ビデオまたは DVD ビデオの場合、リージョンコードが一致しているか確認してください。（→ **69** ページ）
・BD-RE Ver.1.0 は再生できません。
・DVD ディスクの場合は、録画した機器でファイナライズを行ってください。
・ディスクをクリーニングしてください。（→ **12** ページ）
・ディスクを正しくセットしてください。（→ **20** ページ）
・本機内部の結露（つゆつき）を除去してください。（→ **12** ページ）
・PAL/SECAM 方式のディスクは再生できません。
・ディスクの記録状態、傷、そり、汚れやピックアップの状態、ご使用のディスクと本機との相性により、適切な再生ができない場合があります。

再生（つづき）

市販のBDビデオまたはDVDビデオを再生中、吹き替え音声が切り換わってしまう。

- 市販のBDビデオまたはDVDビデオによっては、テレビ放映当時の音声をそのまま収録しているものがあります。そのため、吹き替えの音源がない部分は、オリジナルの音源になりますので、日本語と外国語が交互に切り換わる動作をする場合があります。

他のDVDレコーダーで録画・編集したDVDディスクが途中で再生されなくなる。

- 他のDVDレコーダーで編集したディスクのプレイリストは、12時間以上再生できません。
- DVD-R DL（2層）ディスクは再生できない場合があります。

二ヶ国語の音声が切り換えられない。

- オーディオ機器とデジタル接続して使用している場合は、アンプ側で音声切換の操作を行ってください。アンプ側に音声切換機能がないときは、アナログ接続して本機側で切り換えてください。

BDやDVDの映像を、ビデオデッキなどに録画したりビデオデッキなどを通して再生すると、再生画面が乱れる。

- 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。コピー禁止信号が入っているDVDディスクの場合、ビデオデッキなどを経由して再生したり、ビデオデッキなどに録画して再生するとコピーガードにより正常に再生されません。

静止画再生／コマ送り再生がうまくいかない。

- DVD-RW/-Rディスク（VRフォーマット）以外のディスクでコマ送り動作をしたときは映像がずれることがあります。
- 市販のBDビデオやDVDビデオでは、ディスクによって静止画再生／コマ送りの操作が禁止されているものがあります。
- 本機はコマ戻し再生ができません。

早送り／早戻し（サーチ）がうまくいかない。

- ディスクや再生しているシーンによっては、早送りサーチをしたとき、本書に記載のスピードにならない場合があります。
- タイトルをまたぐサーチはできません。タイトルの切り換わり部分になると、再生状態になります。

スロー再生がうまくいかない。

- タイトルの最後になると、スロー再生が解除されます。
- タイトルをまたぐスロー再生はできません。
- 本機は逆スロー再生ができません。

再生できないタイトルがある。

- 正常に録画されなかった映像は再生できません。
- 録画時間が短い場合は、再生できないことがあります。

データ放送が再生できない。

- BDに録画された連動データ放送は再生できません。

録画したデジタル放送の字幕が表示できない。

- BDに録画された番組の字幕は表示できません。

タイトルリストのタイトル名に「＊」が表示される。

- 本機で表示できない文字は、「＊＊＊＊・・・・」と表示されます。
- 本機で表示できない言語のタイトル（日本語·英語以外）は、「プログラム1」などと表示されます。

本体の音／動作

ディスクを挿入しても出てきてしまう。

- 市販のBDビデオやDVDビデオの場合、リージョンコードが一致しているか確認してください。（→**69**ページ）
- 再生できるディスクかどうか、確認してください。（→**69**ページ）
- BDまたはDVDディスクを正しく挿入してください。（→**20**ページ）
- 汚れや傷がないか確認してください。
- BDまたはDVDディスクをクリーニングしてください。（→**12**ページ）

ディスクが出ない。

- 本体の電源ボタンを5秒以上押し続けて、本機をリセットしてください。電源が切れ、電源ランプが赤点灯してから、取り出しボタンを押し電源を入れてください。
- 上記の操作を行ってもディスクが出てこないときは、お買いあげの販売店またはお客様相談センター（→**78**ページ）にお問い合わせください。

ディスクを挿入すると「ピピッ」と音がする。

- ディスクを読み込むための音で故障ではありません。

リモコン

リモコンで操作できない。

・リモコンの操作範囲内で使用してください。（→ **15** ページ）
・リモコンの乾電池を新しいアルカリ乾電池と交換してください。（→ **15** ページ）
・キーロックが設定されていませんか。（→ **13**、**14** ページ）

本機のリモコンで操作すると、他の DVD 機器（当社製）やテレビも動作してしまう。

・リモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコンにより誤動作するものがあります。本機と離してご使用ください。

画面が止まり、リモコンで操作できない。

・本体の電源ボタンで電源を「切」にし、再度電源を入れ直してみてください。
・本体の電源ボタンを 5 秒以上押し続けリセットしてください。
・ディスクに傷や汚れがありませんか。ディスクを確かめてください。

ファミリンク機能（ファミリンクについては、ファミリンク対応アクオスの取扱説明書をご覧ください。）

映像が映らない、正常な映像が映らない。

・電源を入れた状態で HDMI ケーブルを抜き差ししないでください。映像が映らなくなったり、正しく映らない場合があります。

ファミリンク機能が正常に働かない。

・電源を入れた状態で HDMI ケーブルを抜くと、ファミリンク機能が正常に働かない、正しく動作しない、などの場合があります。電源の入／切は、HDMI ケーブルの接続が済んでから行ってください。
・ファミリンク機能が正常に働かなくなったときは、次の手順で接続と設定を確認してください。
　・本機の電源を「切」にする
　・HDMI ケーブルの接続を確認する
　・本機の電源を「入」にする

その他

［ホーム］を押してもホーム画面が表示されない。

・メッセージが表示されたときは、メッセージに従って操作してください。
・テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えてから、［ホーム］を押してください。
・再生中は、ホーム画面を表示できません。

本機の設定内容が消える。

・電源が入っている状態で、停電や電源プラグが抜かれて電源が切れたときは、「各種設定」で設定した内容が工場出荷状態となる場合があります。

使用中に本体が熱くなる。

・本機を使用中、使用環境によっては本体キャビネットの温度が若干高くなりますが、故障ではありません。安心してお使いください。

操作ができない。

・リモコンの操作範囲内で使用してください。（→ **15** ページ）
・「操作ができない」（→ **71** ページ）をご覧ください。

MD とデジタル接続して CD から MD に録音できない。

・本機の光デジタル出力端子から出力される音声は複製ができません。

本機に接続した USB メモリーをパソコンで見たとき、フォルダやファイルが増えている。

・本機の外部メモリー端子に USB メモリーを接続したときは、BD-LIVE のデータを保存するため、フォルダ「Istor」とファイル「th.bin」が自動で作成されます。そのため、パソコン等で見たときは上記のフォルダやファイルが表示されます。

エラーメッセージ（例）

ディスクが正しくなかったり操作を誤ったときは、テレビ画面に次のような表示が出ます。

テレビ画面表示	エラーの内容	対応
このディスクは再生できません。	・本機で再生できないディスクが入っているとき	・ディスクを確かめて入れ直してください。
規定外のディスクです。	・ディスクに傷があるときなど本機で再生できないディスクを入れたり、表裏逆に入れたとき、表示が出てきます	
この操作はできません。	・誤った操作をしたとき	――
ディスクが入っていません。	・ディスクに傷があるときなど本機で再生できないディスクを入れたり、表裏逆に入れたとき、表示が出てきます	・ディスクを確かめて入れ直してください。
このディスクは読み込めませんでした。	・リージョン（再生可能地域）番号以外のディスクを入れたとき ・本機で再生できないディスクを入れたとき ・表裏を間違えて入れたり、汚れや傷などで読み込めないディスクを入れたとき	・再生できるディスクか確認してください。 ・ディスクに傷や汚れが無いか、表裏を間違えて入れていないか確かめてください。
このディスクは BD LIVE に対応していますが、設定で禁止されているのでインターネットへの接続は行いません。	・「ホーム」-「各種設定」-「BD/DVD 再生設定」-「BD-LIVE 設定」が「禁止する」に設定されている状態で BD-LIVE に接続しようとしたとき	・「BD-LIVE 設定」を「条件付き許可」または「許可する」に設定を変更してください。
この写真は再生できません。	・JPEG 以外の写真ファイルを再生しようとしたとき	・写真ファイルは、JPEGファイルか作成した機器で確認してください。
写真が再生できません。	・ファイルが壊れているときや、ディスクが読み込めないとき ・フォルダ構造が本機で対応できていない階層となっているとき	・ディスクの状態を確かめてください。 ・本機が対応しているフォルダ階層は 1 階層のみです。
ディスクが入っていません。JPEG の写真を保存した CD を入れてください。	・ディスクが入っていない状態で画像を選択したとき	・JPEG ファイルが書き込まれている CD-R/CD-RW を入れてください。
正しいディスクが入っていません。JPEG の写真を保存した CD を入れてください。	・BD や DVD など JPEG 以外のディスクで画像を選択したとき	・JPEG ファイルが書き込まれている CD-R/CD-RW を入れてください。
更新用ソフトウェアのファイルをコピーした USB メモリーを接続してください。	・USB メモリーを装着せずにソフトウェア更新を行おうとしたとき	・更新用のデータが書き込まれた USB メモリーを装着して更新してください。
USB メモリー内に更新用ソフトウェアのファイルが見つかりませんでした。USB メモリーにファイルがコピーされているか確認してから再度ソフトウェアの更新を行なってください。	・ソフトウェア更新用のデータが書き込まれていない USB メモリーを装着してソフトウェア更新を行おうとしたとき	・更新用のデータが書き込まれた USB メモリーを装着して更新してください。
ソフトウェアの更新ができませんでした。	・ソフトウェア更新用のデータが、既に本体に書き込まれているソフトウェアより古いバージョンとなっているとき ・データが正しく書き込まれていない USB メモリーを装着してソフトウェア更新を行おうとしたとき	・正しい更新用のデータが書き込まれた USB メモリーを装着して更新してください。
USB メモリー内の更新用ソフトウェアファイルを確認してから、もう一度ソフトウェアの更新を行なってください。	・ソフトウェア更新用のデータが既に本体に書き込まれているソフトウェアより古い USB メモリーを装着してソフトウェア更新を行おうとしたとき	・正しい更新用のデータが書き込まれた USB メモリーを装着して更新してください。
更新用ソフトウェアが正しいファイルではありません。	・本機以外のソフトウェア更新データが書き込まれている USB メモリーを装着してソフトウェア更新を行おうとしたとき	・正しい更新用のデータが書き込まれた USB メモリーを装着して更新してください。

次ページへつづく ▶▶▶

更新用ソフトウェアの正しいファイルをコピーしてからもう一度ソフトウェアの更新を行なってください。	・本機以外のソフトウェア更新データが書き込まれている USB メモリーを装着してソフトウェア更新を行おうとしたとき	・正しい更新用のデータが書き込まれた USB メモリーを装着して更新してください。
USB メモリー内の更新用ソフトウェアはこの製品用のものではありません。	・本機以外のソフトウェア更新データが書き込まれている USB メモリーを装着してソフトウェア更新を行おうとしたとき	・正しい更新用のデータが書き込まれた USB メモリーを装着して更新してください。
録画したタイトルが無いので再生できません。	・タイトルの記録されていないディスクを再生しようとしたとき	・タイトルが録画されているディスクを入れてください。
対応していないディスクです。 ディスクを確認してください。	・リージョン（再生可能地域）番号以外のディスクを入れたとき ・本機で再生できないディスクを入れたとき	・再生できるディスクか確認してください。 ・表裏を間違えて入れていないか確かめてください。
ディスクを確認してください。	・表裏を間違えて入れたり、汚れや傷などで再生できないディスクを入れたとき	・ディスクに傷や汚れが無いか、表裏を間違えて入れていないか確かめてください。
本機ではこのディスクを使用できません。	・本機で再生できないディスクを入れたとき ・表裏を間違えて入れたり、汚れや傷などで再生できないディスクを入れたとき	・再生できるディスクか確認してください。 ・ディスクに傷や汚れが無いか、表裏を間違えて入れていないか確かめてください。
現在はこの操作はできません。 ディスクを取り出してから行ってください。	・ディスクが入っている状態で、設定が禁止されている BD-LIVE 設定などを行おうとしたとき	・ディスクを取り出してから設定してください。
アップデートデータのダウンロード中にエラーが発生しました。	・BD-LIVE 動作のためのデータ取得にエラーが生じたとき	・一度ディスクを取り出し、再度操作し直してください。

よくあるお問い合わせ

「故障かな？と思ったら」（→ **71** ページ）も、あわせてご覧ください。

再生

海外で購入した BD ビデオは再生できますか？

- リージョンコードⒶ「All Region（オールリージョン）」（Ⓐを含む）、またはリージョンコードの記載がない（リージョンコードが設定されていない）BD ビデオが再生できます。
- PAL、SECAM 方式の BD ビデオは再生できません。

海外で購入した DVD ビデオは再生できますか？

- リージョンコードALLまたは2の含まれる DVD ビデオが再生できます。
- PAL、SECAM 方式の DVD ビデオは再生できません。

ファミリンク

ファミリンク機能は使えますか？

- HDMI ケーブルでシャープ製のファミリンク対応液晶テレビ「アクオス」と本機を接続してください。本機で再生を開始すると自動でテレビの入力が切り換わるワンタッチ再生や、テレビの電源を切ると本機の電源も自動で切れるなどの連動操作が行えます。
  ファミリンクについて詳しくは、ファミリンク対応アクオスの取扱説明書をご覧ください。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

● 保証書は、「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

● **保証期間**
お買い上げの日から 1 年間です。
保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

ご不明な点や修理に関するご相談は

● 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店、またはシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。（→ **78** ページ）

補修用性能部品の保有期間

● 当社は、ブルーレイディスクプレーヤーの補修用性能部品を、製品の製造打切後 8 年保有しています。
● 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは 出張修理

●「故障かな？と思ったら」（→ **71** ページ）を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

・品　　　　名　：ブルーレイディスクプレーヤー
・形　　　　名　：BD-HP90
・お買い上げ日　（年月日）
・故 障 の 状 況　（できるだけくわしく）
・ご　　住　　所　（付近の目印も合わせてお知らせください）
・お　　名　　前
・電　話　番　号
・ご訪問希望日

便利メモ

お客様へ…
お買い上げ日・販売店名を記入されると便利です。

お買い上げ日	販売店名
年　　月　　日	電話（　　　）　　―

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

愛情点検

長年ご使用のブルーレイディスクプレーヤーの点検を!
こんな症状はありませんか?
・電源コードやプラグが異常に熱い。
・映像が乱れたり、きれいに映らない。
・その他の異常や故障がある。

以上のような症状のときは、スイッチを切り、プラグをコンセントから抜いて使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

確認
準備
基本
再生
接続
各種設定
参考

お客様ご相談窓口のご案内

修理・使い方・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、及び万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にご相談ください。
電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。
FAX送信される場合は、製品の形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

使い方や修理のご相談など

※「修理品引き取りサービス」をご希望の方は、枠外の〈補足〉をご覧ください。

【お客様相談センター】

0120 - 001 - 251
携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

電話：043 - 331 - 1626	FAX：043 - 297 - 2696
〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2	

受付時間　●月曜～土曜:9:00～20:00　●日曜・祝日:9:00～17:00　(年末年始を除く)

●所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。(2010.10)

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。

シャープサポートページ
http://www.sharp.co.jp/support/

補足　「修理品引き取りサービス」のご案内。

修理品引き取りサービスとは、お持込みいただける商品について電話で修理依頼をいただきますと、業務委託した宅配業者が、お客様のご都合の良い日時にご自宅まで訪問してお預かりし、弊社で修理完了後、ご自宅までお届けに伺うサービスです。

ご利用内容

※お申し込みの前にご確認ください。
※サービスエリア：日本国内すべての地域。ただし、沖縄県全域（離島を含む）及び鹿児島県奄美市・大島郡を除きます。

ご利用料金

■運送費

保証期間内	無　料
保証期間外	1,000円+梱包資材費+代引き手数料

※梱包料を含む往復料金(税別)

■修理料金

保証期間内	無料(保証書記載の「保証規定」に準じます)
保証期間外	有料(修理内容により異なります)

※保証期間内でも有料になる場合があります。詳しくは保証書をご確認ください。

お申し込み

【お客様相談センター】(上記参照)にお電話でお申し込みください。

お引き取り

当社指定の業者(ヤマト運輸)がお引き取りに伺います。

■お引き取りの時間は下記時間帯よりお選びいただくことができます。

午前中	12:00～14:00	14:00～16:00	16:00～18:00	18:00～21:00

■お引き取り日はご依頼日の翌日以降となります。
■18:00～21:00の時間帯は土、日、祝日は除きます。
■交通事情などの理由によりご指定の時間にお伺いできない場合がございます。

※離島の場合は、船便等のスケジュールにより、ご訪問できる日時が変動します。
※修理品は宅配業者が梱包箱を持参してお伺いし、梱包させていただきます。

修理・お届け

修理完了後、シャープエンジニアリング(株)よりご連絡いたします。

■ご連絡時にサービス料金(修理料金+利用料)と発送日をご連絡いたします。
■ヤマト運輸が修理完了品をお届けに伺います。
■サービス料金(修理料金+利用料)をヤマト運輸に、現金でお支払いください。

※離島の場合は、船便等のスケジュールにより、ご訪問できる日時が変動します。

仕様

品名			ブルーレイディスクプレーヤー
形式			BD-HP90
一般	電源		DC12V（付属の専用 AC アダプター使用）
	外形寸法	横置き時	幅 430mm、奥行 218mm、高さ 35mm （突起部を除く）
		スタンド取付時	幅 218mm、奥行 110mm、高さ 447mm
	本体質量		約 2.1kg
	使用温度範囲		＋ 5℃～＋ 35℃
	使用湿度範囲		10%～ 80% （結露なきこと）
	動作姿勢		水平・垂直
再生	再生可能ディスク ※1※2		BD ビデオ、BD-RE Ver.2.1 SL（1 層）／ DL（2 層）、 BD-R Ver.1.1 SL（1 層）／ DL（2 層）、 BD-R Ver.1.2 SL（1 層）／ DL（2 層）、 BD-R Ver.1.2 LTH TYPE、BD-R Ver.1.3、 BD-R Ver.1.3 LTH TYPE、 DVD ビデオ、DVD-RW※3、DVD-R※3、DVD-R DL（2 層）※3、 DVD+RW※4、DVD+R※4、DVD+R DL（2 層）※4、 音楽 CD、CD-R（音楽 CD フォーマット、MP3、JPEG ファイル）、 CD-RW（音楽 CD フォーマット、MP3、JPEG ファイル）
接続端子	DC 入力端子		DC12V
	HDMI 出力		1 系統
	光デジタル音声出力		1 系統
	外部メモリー端子（USB 準拠）		1 系統（DC5V 500mA）
	LAN 端子		1 系統
付属品	リモコン、単 4 形乾電池 2 個、HDMI ケーブル、電源コード、AC アダプター、縦置スタンド、 転倒防止クランプ 2 個、クランプ取付けビス 2 個、取扱説明書（本書）※5、保証書		

※ 1　BD-RE Ver.1.0 は本機では使用できません。
　　　BD-RE Ver.2.1 でも、カートリッジタイプのディスクは使用できません。
※ 2　BD-RE XL、BD-R XL ディスクは再生できません。
※ 3　ファイナライズ済ディスクのみ再生できます。
※ 4　ビデオフォーマットのファイナライズ済ディスクのみ再生できます。
※ 5　日本語以外の説明書はありません。

消費電力（付属の専用 AC アダプター使用）	13W
待機時消費電力（付属の専用 AC アダプター使用）	0.4W

AC アダプター	電源	AC 100V - 240V、 50/60Hz
	DC 出力	12V、5.0A

- 仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
- 海外では使用できません。このブルーレイディスクプレーヤーは日本国内でご使用ください。電源電圧は AC100V、50/60Hz でご使用ください。
  <This Blu-ray Disc Player is designed for use in Japan only.>

登録商標

商標・登録商標など

- 本製品は、ロヴィコーポレーションが保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。リバースエンジニアリングまたは逆アセンブルは禁止されています。
- 本機は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- Dolby、ドルビー、Pro LogicおよびダブルD( )記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- DTSはデジタルシアターシステムズ社の登録商標です。
- DTS-HD Advanced Digital Outは、デジタルシアターシステムズ社の商標です。
- Manufactured under license under U.S. Patent #'s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,226,616; 6,487,535; 7,392,195; 7,272,567; 7,333,929; 7,212,872 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS and the Symbol are registered trademarks, & DTS-HD, DTS-HD Master Audio ¦ Essential and the DTS logos are trademarks of DTS, Inc. Product includes software. ©DTS, Inc. All Rights Reserved.
- Blu-ray Disc は商標です。
- "Blu-ray 3D"および Blu-ray 3D は、Blu-ray Disc Associationの商標です。
- BDXL は、Blu-ray Disc Association の商標です。
- BD LIVE は、Blu-ray Disc Associationの商標です。
- BONUS VIEW™は、Blu-ray Disc Associationの商標です。
- JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- DVD はDVDフォーマットロゴライセンシング(株)の商標です。
- AVCHDおよびAVCHDロゴは、パナソニック株式会社、ソニー株式会社の商標です。
- HDMI、HDMIロゴおよび高品位マルチメディアインターフェイスは、米国及びその他の国におけるHDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報

ソフトウェア構成
本機に組み込まれているソフトウェアは、それぞれ当社または第三者の著作権が存在する、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成されています。

当社開発ソフトウェアとフリーソフトウェア
本機のソフトウェアコンポーネントのうち、当社が開発または作成したソフトウェアおよび付帯するドキュメント類には当社の著作権が存在し、著作権法、国際条約およびその他の関連する法律によって保護されています。
また本機は、第三者が著作権を所有しフリーソフトウェアとして配布されているソフトウェアコンポーネントを使用しています。それらの一部には、GNU General Public License（以下、GPL）、GNU Lesser General Public License（以下、LGPL）またはその他のライセンス契約の適用を受けるソフトウェアコンポーネントが含まれています。

ソースコードの入手方法
フリーソフトウェアには、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、そのコンポーネントのソースコードの入手を可能にすることを求めるものがあります。GPL および LGPL も、同様の条件を定めています。こうしたフリーソフトウェアのソースコードの入手方法ならびに GPL、LGPL およびその他のライセンス契約の確認方法については、以下の WEB サイトをご覧ください。
http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/source/download/index.html（シャープ GPL 情報公開サイト）
なお、フリーソフトウェアのソースコードの内容に関するお問合わせはご遠慮ください。
また当社が所有権を持つソフトウェアコンポーネントについては、ソースコードの提供対象ではありません。

謝辞
本機には以下のフリーソフトウェアコンポーネントが組み込まれています。

・directfb-extra	・cairo	・directfb	・iconv	・openssl
・curl	・freetype	・jpeg	・expat	・mng
・png	・xml	・zlib	・kernel	・net-tools
・GNU bash	・busybox	・cramfs	・dhcpcd	・e2fsprogs
・fdisk	・TinyLogin	・sysutils	・iptables	・mtd-utils
・ntfs-3g	・sfdisk	・hotplug	・utelnetd	・procps
・GNU termcap	・libusb	・uClibc	・tcpdump	・strace
・hdparm	・libpcap	・portmap	・FireFLY	

・org.apache.oro.text.regex (Apache licence v2.0)
・Droid Sans Japanese font (Apache licence v2.0)
・Droid Sans Fallback font (Apache licence v2.0)
・LibPThread, Libstdc++, Librt (GPL)

本機で使用しているソフトウェアのライセンス表示

ライセンス表示の義務
本機に組み込まれているソフトウェアコンポーネントには、その著作権者がライセンス表示を義務付けているものがあります。そうしたソフトウェアコンポーネントのライセンス表示を、以下に掲示します。

OpenSSL License

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org)
この製品には OpenSSL Toolkit における使用のために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。

Original SSLeay License

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
この製品には Eric Young によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。

BSD License

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
この製品にはカリフォルニア大学バークレイ校と、その寄与者によって開発されたソフトウェアが含まれています。

本機は、MPEG2 AAC に関する下記番号の特許を使用しています。
特許番号

5,848,391	5,291,557	5,451,954
5,400,433	5,222,189	5,357,594
5,752,225	5,394,473	5,583,962
5,274,740	5,633,981	5,297,236
4,914,701	5,235,671	07/640,550
5,579,430	08/678,666	98/03037
97/02875	97/02874	98/03036
5,227,788	5,285,498	5,481,614
5,592,584	5,781,888	08/039,478
08/211,547	5,703,999	08/557,046
08/894,844	5,299,238	5,299,239
5,299,240	5,197,087	5,490,170
5,264,846	5,268,685	5,375,189
5,581,654	5,548,574	5,717,821

用語の解説

アルファベット

3D
人はものを見るときに右目・左目それぞれわずかに異なった映像を見ています。これを「視差」と呼び、脳の処理により奥行感や立体感を認知します。3D映像は、この「視差」を応用し、右目用、左目用の映像を交互に高速表示することにより、2つのイメージを立体感ある映像として認識させる技術です。3Dの視聴には、3Dに対応したテレビが必要です。

AAC（Advanced Audio Coding）
音声圧縮方式の一つで国際的な標準規格です。
地上デジタル/BSデジタル/CSデジタル放送の映像圧縮方式である「MPEG-2」に採用されています。MPEG-1に採用されている音声圧縮方式「MP3」より、1.4倍ほど圧縮効率が高くなっています。

ADSLモデム
本機やコンピュータなどをADSL回線に接続する際に、信号を変換するための機器です。公衆電話回線網で使われるADSL信号と、LANで使われるイーサーネットの信号の変換をします。ADSLの規格は事業者ごとに異なるため、事業者を変更した場合や、引っ越しなどで本機をお使いになる地域が変わった場合には、同じADSLモデムがご利用いただけないことがあります。

AQUOS純モード
シャープ製ファミリンク対応液晶テレビ「アクオス」に最適な画質で映像を楽しむための機能です。「アクオス」と本機をHDMIケーブルで接続し、ファミリンク機能を使用するための設定をしているとき、本機のHDMI端子から「アクオス」に最適な画質で映像が出力されます。

BD-LIVE（BDライブ）
BDビデオの規格で、インターネットを利用して特典映像や字幕、ゲームなど、などさまざまなデータをダウンロードして楽しむことができます。

BONUS VIEW ™（ボーナス ビュー）
BDビデオに収録されている特典映像です。映画制作者のコメントやインタビューなどの映像が、本編を再生しながら小画面で表示し、楽しむことができます。

CPRM（Content Protection for Recordable Media）
デジタルメディアに対する著作権保護技術のことです。

DOLBY DIGITAL・PLUS
ドルビーデジタルを基に開発された、高音質・多チャンネル化が可能な音声方式です。7.1chに対応しています。従来のアンプでも、5.1chのドルビーデジタルビットストリームで出力することができます。

DOLBY TRUE HD
DVDオーディオで採用されている「MLPロスレス」の機能拡張版として開発された音声方式です。7.1chに対応しています。従来のアンプでも、5.1chのドルビーデジタルで出力することができます。

DTS
DTS Inc.社が開発した、劇場向けデジタル音声システムのことです。音声6chを使って、正確な音場定位とリアルな音響効果が得られます。DTS対応プロセッサーやアンプとの接続で映画館のような音声が楽しめます。

HDMI（High Definition Multimedia Interface）
ハイビジョン映像信号、マルチチャンネルオーディオ信号、双方向伝送対応のコントロール信号を1本のケーブルで接続できるデジタルAVインターフェースです。デジタル信号を圧縮せずに転送するので、高品位な画質・音質をシンプルな接続で楽しむことができます。

JPEGファイル（Joint Photographic Experts Group）
静止画のデータを圧縮する方式の一つです。イラストなどのグラフィックよりも、写真などの画像を圧縮するのに向いた方式です。元の画像データに比べて、約1/10～1/100に圧縮できます。

MP3（MPEG Audio Layer 3）
音声圧縮方式の一つで音楽CD並の音質を保ったまま、データ量を約1/11に圧縮できる方式です。

USBメモリー（Universal Serial Bus）
USBとは、周辺機器を接続するための規格の一つです。USBメモリーは、パソコンなどUSB端子を持つ機器に手軽に接続できる外部メモリーです。本機では、BD-LIVE（BDライブ）対応のBDビデオを楽しむときにUSBメモリーを接続し、BD-LIVE（BDライブ）でダウンロードした映像などのデータを保存するために使います。

x.v.Color
x.v.Colorは人間の目で感知できるほとんどの色を再現し、従来と比べて広範囲の色を再現できます。

あ行

オリジナル／プレイリスト

オリジナル
テレビ放送などを録画した映像（タイトル）を「オリジナル」と呼びます。

プレイリスト
オリジナルのタイトルから、必要なシーンだけをコピーして再生したりできるタイトルのことを「プレイリスト」と呼びます。

音声出力レベル
ドルビーデジタル音声を再生したとき、音の強弱の幅（ダイナミックレンジ）を調整し、セリフ部分を聞こえやすいように調整する機能です。

か行

キーロック
リモコンで操作できないようにする機能です。誤って操作してしまうことを防ぐことができます。ファミリンク対応の液晶テレビ「アクオス」に本機を接続している場合、ファミリンク機能によって本機が操作されてしまうことも防げます。

コピーガード（コピー制御信号）
複製防止機能のことです。著作権者などによって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができません。

さ行

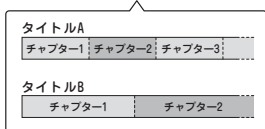
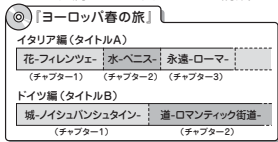
視聴制限（パレンタルレベル）
デジタル放送やBDビデオ、DVDビデオディスクの中には、視聴者の年齢に合わせて、放送やディスクを見るための規制レベルが設定されているものがあります。そのような放送やディスクを視聴したときの規制レベルを設定することができます。

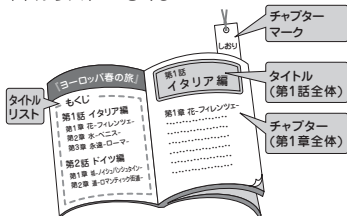
スライドショー再生
CD-RまたはCD-RWに保存されている写真（JPEGファイル）をテレビ画面で楽しむための機能です。CD-RまたはCD-RWのフォルダを選んで再生操作をすると、フォルダ内の写真が自動的に次々と再生されます。

次ページへつづく ▶▶▶

た行

タイトルとチャプター、ディスク内の構成

BD や DVD ディスクに録画されている番組のことを「タイトル（録画した番組）」といいます。
タイトルは、さらに「チャプター（章・区切り）」という単位で構成されています。実際には、次のような構成になっています。

タイトルとチャプターを短編小説に例えると、次のような関係になります。

- タイトル ＝ 話
- チャプター ＝ 章
- チャプターマークを付ける ＝ しおりをはさむ
- タイトルリスト ＝ もくじ

タイトルリスト

録画した番組が一覧で確認できる画面です。

チャプター

ディスクのタイトル中にある章をチャプターといいます。

ディスクメニュー

DVD ビデオを再生するときに表示させるメニューです。字幕の言語や音声の種類などを選ぶことができます。

つづき再生

ディスクの再生中に一度停止すると、停止した位置を本機が記憶し、停止した位置から続けて再生することができる機能です。

ドルビーデジタル（5.1ch）

ドルビー社が開発した立体音響効果のことをいいます。ドルビーデジタル（5.1ch）対応プロセッサーやアンプとの接続で、映画館のようなディスクの再生音声が楽しめます。

は行

ハブ

複数の機器を LAN に接続するための集線機器です。

パンスキャン

4：3 のテレビと本機を接続しワイド（16：9）記録のディスクを再生したときに、再生画像の左右をカットし 4：3 のサイズにする機能です。

ビデオフォーマット

市販の DVD プレーヤーで再生できる録画方式です。市販の DVD プレーヤーなどで再生するには、ファイナライズという処理が必要です。

ファミリンク機能

ファミリンク機能とは、HDMI CEC（Consumer Electronics Control）を使用し、HDMI で規格化されているテレビや BD プレーヤー、DVD レコーダー、AV アンプを制御するためのコントロール機能です。プレーヤーの再生操作に連動し、テレビの画面をプレーヤーの画面に切り換えるなどのことが行えます。

プレイリスト

オリジナルのタイトルから、必要なシーンだけをコピーして再生したりできるタイトルのことを「プレイリスト」と呼びます。他機で録画したディスクにプレイリストが設定されているときは、プレイリストの再生が行えます。（本機ではプレイリストは作成できません。）

ブロードバンドルーター

広帯域のデータ信号を他のネットワークに接続するための中継機器です。

プログレッシブ

とび越し走査（インターレース）しないで 1 フィールド目で 525 本の走査線を順番通りに描き、次のフィールドで再度同じ場所を 525 本全部の走査線で描いていく順次走査のことです。

ポップアップメニュー

JavaScript を使った BD ビデオの機能です。再生を止めることなく BD ビデオに収録されたメニューを表示し、いろいろな操作を楽しめます。

ま行

マルチアングル

BD や DVD ビデオディスクの特長の一つで、同じ画像を角度を変えて撮影したものを、一枚のディスクに収録し、アングルを変えて再生画像を楽しめる機能です。（マルチアングル記録のディスクで楽しめる機能です。）

マルチ音声

デジタル放送や BD、DVD ビデオディスクの特長の一つで、同じ画像に対して異なる音声をいくつも記録し、音声を切り換えて楽しめる機能です。

ら行

リージョンコード（再生可能地域番号）

BD ビデオや DVD ビデオは、各国に合わせて再生できるソフトが決められています。その再生できるディスクのコードをリージョンコードといいます。
本機では、BD ビデオはリージョンコード Ⓐ、DVD ビデオはリージョンコード ② または ALL のソフトが再生できます。

リニア PCM 音声

BD・DVD・音楽用 CD に用いられている、非圧縮の信号記録方式です。

レターボックス

4：3 のテレビと本機を接続しワイド（16：9）記録のディスクを再生したとき、上下に黒い帯のある画像で再生される機能です。

さくいん

英数字

あ行

か行

さ行

た行

は行

ま行

ら行

エコロジークラスでいきましょう。シャープ。

ブルーレイディスクプレーヤー BD-HP90

この製品は、こんなところがエコロジークラス。

グリーン材料 **すべての基板に無鉛ハンダを使用**

使用している基板すべてに鉛を含まないハンダを採用しています。環境に配慮したグリーン材料設計です。

上手に使って、もっともっとエコロジークラス。

◎電源の切り忘れ防止機能を!

電源が入ったままの状態で、約10分間何も操作されないと、各種設定内の「無操作オフ設定」により、自動的に電源が切れるように設定できます。

■よくあるご質問などはパソコンから検索できます。 ▶▶▶ パソコン

シャープ　お問い合わせ　検　索

http://www.sharp.co.jp/support/

使い方や修理のご相談

【お客様相談センター】

0120 - 001 - 251

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

電話：043 - 331 - 1626	FAX：043 - 297 - 2696
〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2	

受付時間 ●月曜～土曜:**9:00～20:00**　●日曜・祝日:**9:00～17:00**　（年末年始を除く）

●所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。（2010.10）

「修理品引き取りサービス」のご案内

修理品引き取りサービスとは、電話で修理依頼をいただきますと、当社指定の運送業者が、お客様のご都合の良い日時にご自宅まで訪問してお預かりし、弊社で修理完了後、ご自宅までお届けに伺うサービスです。

電話でのお申し込みにあたっては**78**ページの「ご利用料金」「お引き取り」「修理・お届け」を併せてご確認のうえご依頼ください。

お申し込み

【お客様相談センター】（0120-001-251）にお電話でお申し込みください。

シャープ株式会社

本　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号

AVシステム事業本部　〒329-2193　栃木県矢板市早川町174番地

Printed in China
ORA9021-A

TINSJA463WJQZ
11P01-CH-NG